

令和5年2月6日

# 令和4年における 特殊詐欺の状況について

警視庁犯罪抑止対策本部

# 目 次

## 1 被害状況

(1) 特殊詐欺全体	・・・ 1
(2) オレオレ詐欺	・・・ 4
(3) 預貯金詐欺	・・・ 7
(4) 架空料金請求詐欺	・・・ 10
(5) 還付金詐欺	・・・ 12
(6) 融資保証金詐欺	・・・ 16
(7) 金融商品詐欺	・・・ 17
(8) ギャンブル詐欺	・・・ 18
(9) 交際あっせん詐欺	・・・ 19
(10) その他の特殊詐欺	・・・ 19
(11) キャッシュカード詐欺盗	・・・ 20
(12) 全体に占める金品手交等の種別割合	・・・ 23
(13) 犯行予兆電話の通報件数	・・・ 23
(14) 犯行利用電話の種別	・・・ 24

## 2 検挙状況

(1) 特殊詐欺本犯	・・・ 25
(2) 特殊詐欺助長犯	・・・ 28

## 3 未然防止等の状況

(1) 未然防止全体	・・・ 29
(2) 金融機関による未然防止	・・・ 30
(3) 被害金調達状況（全体）	・・・ 31
(4) 金融機関における被害金調達	・・・ 32
(5) 金融機関窓口による未然防止率	・・・ 32
(6) 未然防止の好事例	・・・ 33

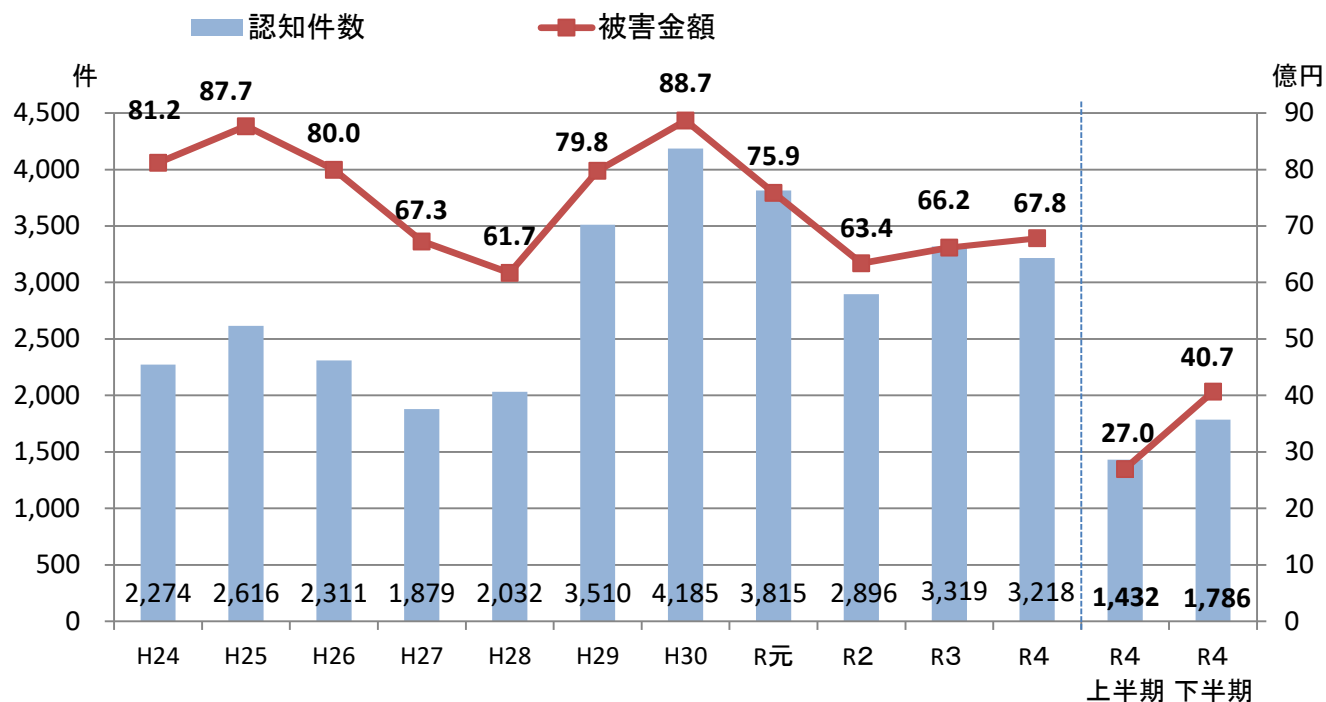
※ 本統計に関する割合の数値は、四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならないことがあるが、便宜上、合計は100%と記す（約は省略）

※ 特殊詐欺とは、被害者に電話をかけるなどして対面することなく信頼させ、指定した預貯金口座への振込みその他の方法により、不特定多数の者から現金等をだまし取る犯罪（現金等を脅し取る恐喝を含む）の総称  
なお、特殊詐欺は、オレオレ詐欺、預貯金詐欺、架空料金請求詐欺、還付金詐欺、融資保証金詐欺、金融商品詐欺、ギャンブル詐欺、交際あっせん詐欺、その他の特殊詐欺及びキャッシュカード詐欺盗の10類型に分類する

# 1 被害状況

## (1) 特殊詐欺全体

### ア 認知状況の年別推移 (H24~R4)



※ H24年からR元年まで「振り込め類似詐欺」を計上、H30年から「キャッシュカード詐欺盗」を計上

※ R4被害金額67億7,844万1,643円 (上半期27億471万2,875円 下半期40億7,372万8,768円)

### イ 令和4年における認知状況

	オレオレ		預貯金		架空料金請求		還付金		融資保証金		金融商品		ギャンブル		交際あっせん		その他		キャッシュカード詐欺盗		合計	
	既遂		既遂		既遂		既遂		既遂		既遂		既遂		既遂		既遂		既遂		既遂	
認知件数	R4年	883 (772)	618 (585)	126 (125)	844 (844)	5 (5)	3 (3)	8 (8)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	730 (723)	3,218 (3,066)		
	R3年	815 (718)	777 (749)	164 (163)	891 (889)	16 (16)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	652 (649)	3,319 (3,188)		
	前年比	+8.3% (+5.4)	-15.9% (-16.4)	-3.8% (-3.8)	-4.7% (-4.5)	-1.1% (-1.1)	+3% (+3)	+4% (+4)	+1% (+1)	±0 (±0)	+7.8% (+7.4)	-1.0% (-1.2)										
	増減率	+8.3% (+7.5%)	-20.5% (-21.9%)	-23.2% (-23.3%)	-5.3% (-5.1%)	-68.8% (-68.8%)	-	+100.0% (+100.0%)	-	-	+12.0% (+11.4%)	-3.0% (-3.8%)										
被害金額	R4年	2,669,384,969	649,757,970	1,023,396,362	1,161,158,511	3,831,293	62,550,000	110,697,532	450,000	0	1,097,215,006	6,778,441,643										
	R3年	2,590,638,401	1,051,684,471	512,330,656	1,238,699,981	28,571,634	0	11,233,000	0	0	1,188,370,361	6,621,528,504										
	前年比	+78,746,568	-401,926,501	+511,065,706	-77,541,470	-24,740,341	+62,550,000	+99,464,532	+450,000	±0	-91,155,355	+156,913,139										
	増減率	+3.0%	-38.2%	+99.8%	-6.3%	-86.6%	-	+885.5%	-	-	-7.7%	+2.4%										
R4年 平均金額 (既遂)		3,457,753	1,110,697	8,187,171	1,375,780	766,259	20,850,000	13,837,192	450,000	0	1,517,586	2,210,842										

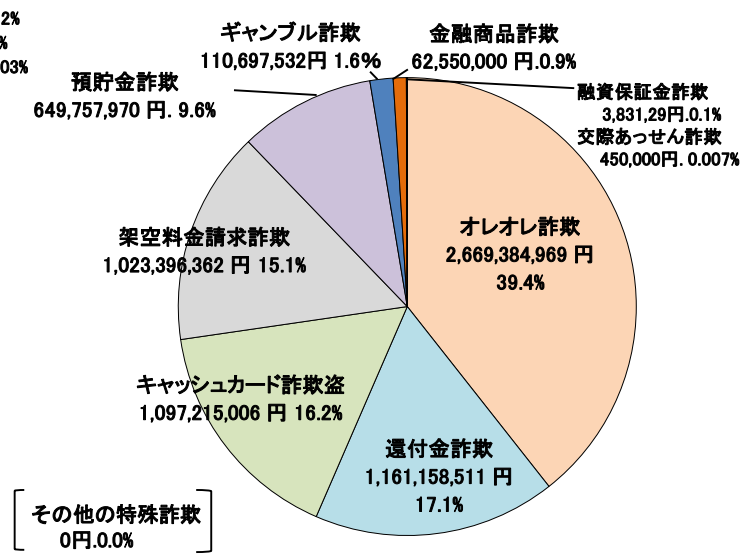
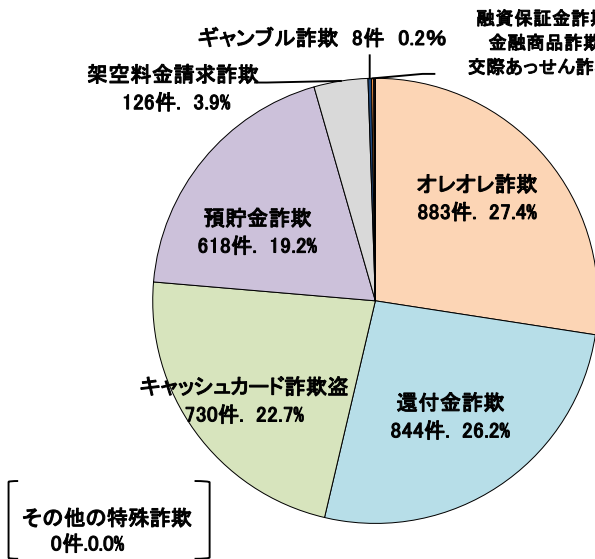
※ 被害金額は、カード手交後の引出金額を含む (以下同じ)

- 認知件数3,218件、被害金額約67.8億円で、前年と比べ認知件数が-101件(-3.0%)減少し、被害金額が約1.6億円(+2.4%)増加した。
- 手口別では前年と比べ、オレオレ詐欺、キャッシュカード詐欺盗、金融商品詐欺、ギャンブル詐欺及び交際あっせん詐欺は増加し、預貯金詐欺、架空料金請求詐欺、還付金詐欺及び融資保証金詐欺は減少した。

## ウ 類型別の認知件数及び被害金額

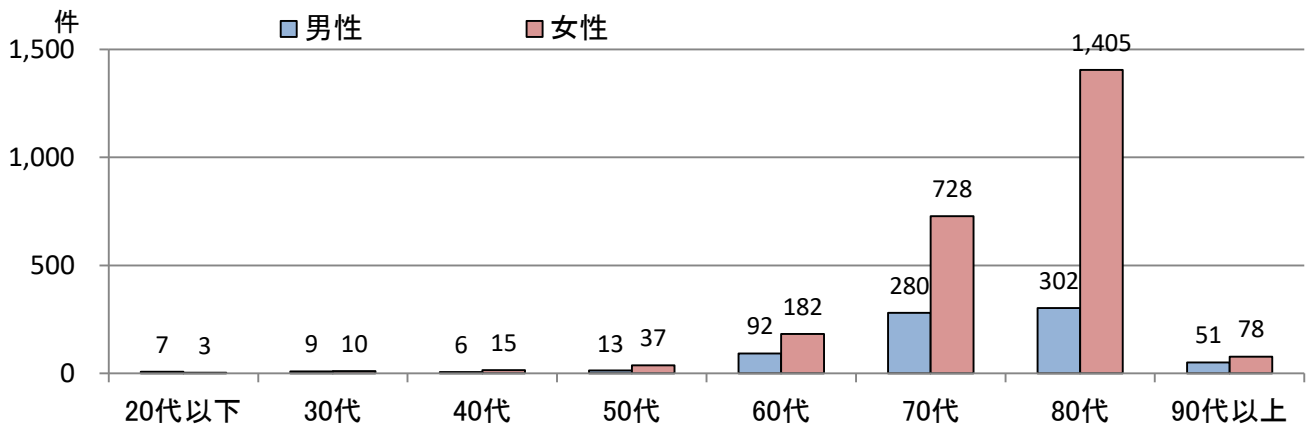
【認知件数 3,218件】

【被害金額 67億7,844万1,643円】



- 認知件数は、オレオレ詐欺が27.4%(883件)を占め、次いで還付金詐欺が26.2%(844件)、キャッシュカード詐欺盗が22.7%(730件)、預貯金詐欺が19.2%(618件)などとなっている。
- 被害金額は、オレオレ詐欺が39.4%(約26.7億円)を占め、次いで還付金詐欺が17.1%(約11.6億円)、キャッシュカード詐欺盗が16.2%(約11.0億円)などとなっている。

## エ 被害者 (年代別・男女別)

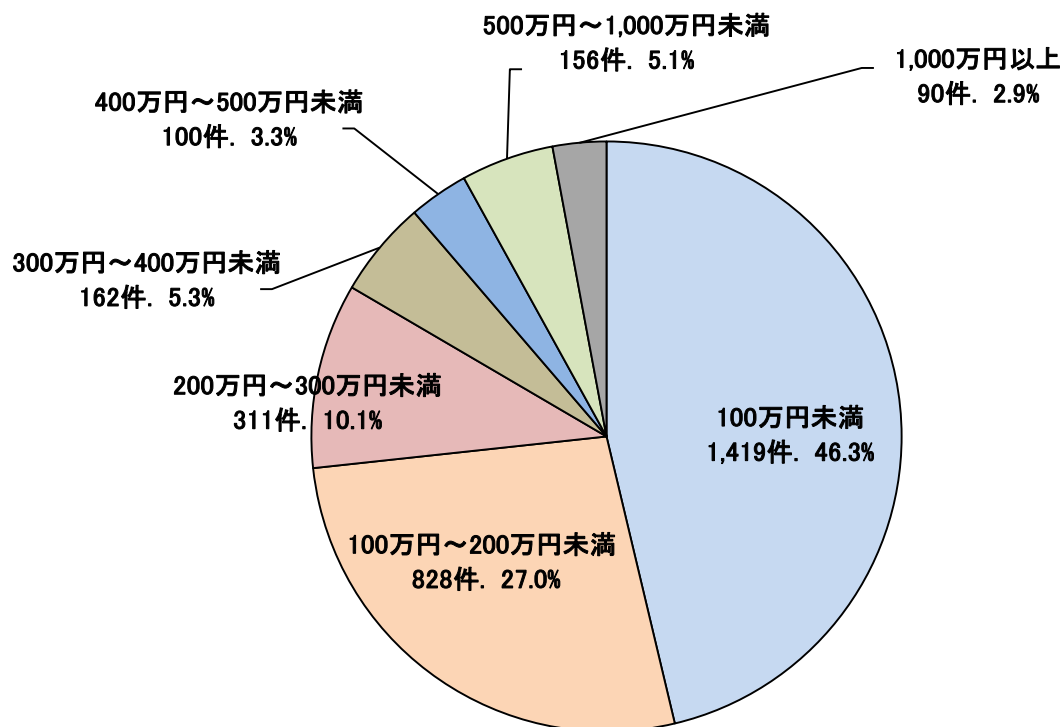


R4年	性別	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		男性	7	9	6	13	92	280	302	51	
割合	0.9%	1.2%	0.8%	1.7%	12.1%	36.8%	39.7%	6.7%	100.0%		
女性	女性	3	10	15	37	182	728	1,405	78	2,458	76.4%
	割合	0.1%	0.4%	0.6%	1.5%	7.4%	29.6%	57.2%	3.2%	100.0%	
合計	合計	10	19	21	50	274	1,008	1,707	129	3,218	100.0%
	割合	0.3%	0.6%	0.7%	1.6%	8.5%	31.3%	53.0%	4.0%	100.0%	
前年比	前年比	-14	-8	-20	-13	+50	-186	+102	-12	-101	-101
	割合	-14	-8	-20	-13	+50	-186	+102	-12	-101	
R3年	性別	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		男性	8	11	21	30	79	316	338	58	
女性	女性	16	16	20	33	145	878	1,267	83	2,458	74.1%
	割合	0.7%	0.7%	0.8%	1.3%	5.9%	35.7%	51.5%	3.4%	100.0%	
合計	合計	24	27	41	63	224	1,194	1,605	141	3,319	100.0%
	割合	0.7%	0.8%	1.2%	1.9%	6.7%	36.0%	48.4%	4.2%	100.0%	

- 被害者の割合は、70代以上が全体の88.4%(2,844人)を占めており、80代が53.0%(1,707人)と最も多い。また、男女別では、女性が76.4%(2,458人)を占めている。

## 才 被害金額別（未遂を除く）

【認知件数 3,066件】



## カ 被害金等受取方法別

	振込	現金手交	カード手交	送付	電子マネー	コンビニ決済	ATM決済	その他不明	合計
R4年	935	792	1,434	12	40	4	0	1	3,218
割合	29.1%	24.6%	44.6%	0.4%	1.2%	0.1%	0.0%	0.0%	100.0%
R3年	1,032	715	1,500	16	52	4	0	0	3,319
割合	31.1%	21.5%	45.2%	0.5%	1.6%	0.1%	0.0%	0.0%	100.0%

※ 被害金等受取方法が複数ある場合は、被害金額が多い受取方法を計上

- ・ 電子マネー ～ 有料サイト利用料金名目等で、コンビニエンスストア等で販売されている電子マネーを購入させ、シリアル番号を聞き出す手口
- ・ コンビニ決済 ～ コンビニエンスストアに設置されているマルチメディア端末等を操作させ、決済を代行させて金銭等をだまし取る手口
- ・ ATM決済 ～ Pay-easy（ペイジー）で、コンビニエンスストア以外の金融機関等に設置されているATM（現金自動預払機）等を利用させ、金銭等をだまし取る手口

○ 受取方法の割合では、カード手交が最も高く全体の44.6%を占め、次いで、振込が29.1%を占めている。

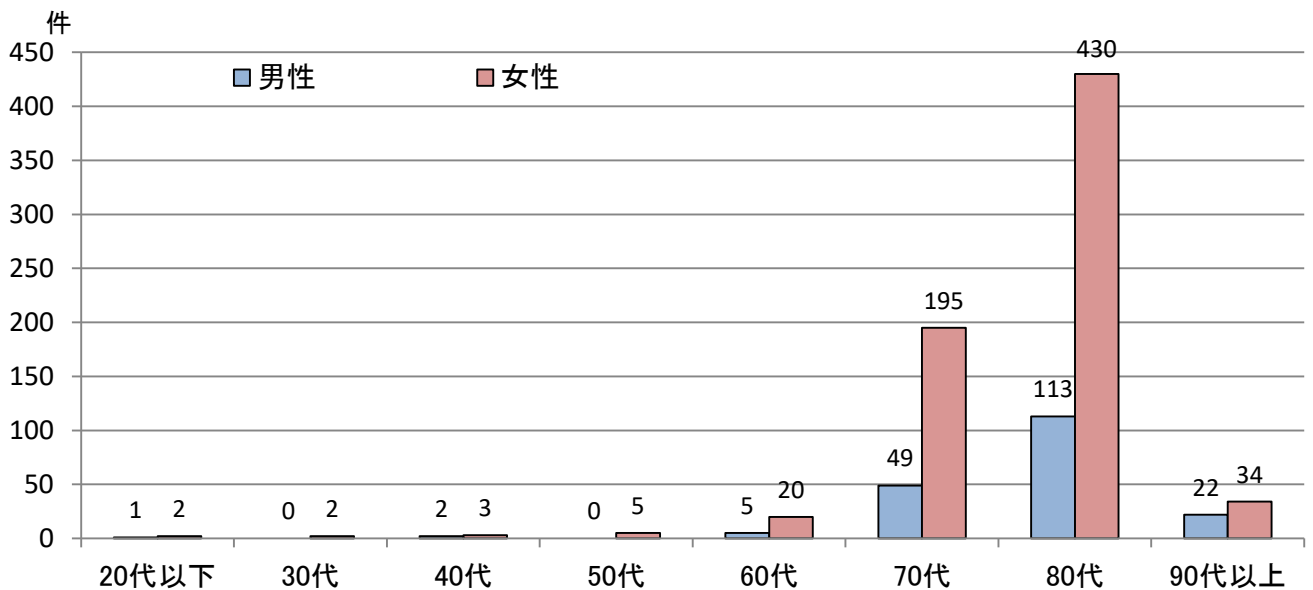
○ 現金手交及びカード手交の合計が、全体の69.2%（2,226件）を占める。

## (2) オレオレ詐欺

### ア 騙しの名目別

	R4年				R3年			
	認知件数	既遂	未遂	被害金額	認知件数	既遂	未遂	被害金額
傷害事件等示談金	3	2	1	3,621,000	6	5	1	6,500,000
横領事件等示談金	13	10	3	78,690,000	16	13	3	80,800,000
痴漢事件等示談金	22	12	10	44,000,000	0	0	0	0
妊娠中絶費用等	14	11	3	81,655,000	16	14	2	70,044,000
借金等の返済	0	0	0	0	9	9	0	35,800,000
損失補填金等	666	587	79	1,835,935,700	538	466	72	1,779,839,796
その他	165	150	15	625,483,269	230	211	19	617,654,605
合計	883	772	111	2,669,384,969	815	718	97	2,590,638,401
前年比	+68	+54	+14	+78,746,568				

### イ 被害者（年代別・男女別）



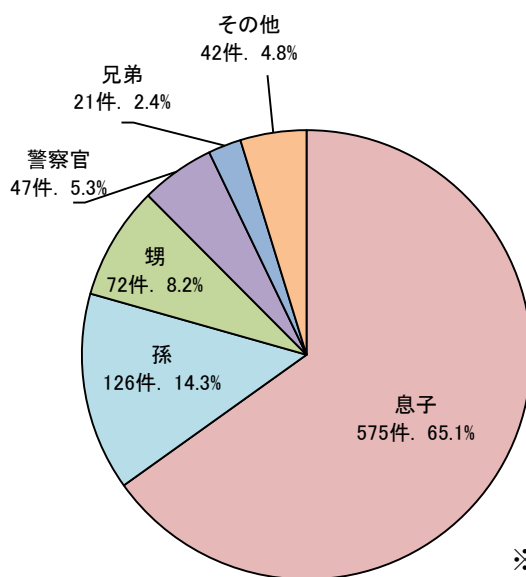
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R4年	男性	1	0	2	0	5	49	113	
	割合	0.5%	0.0%	1.0%	0.0%	2.6%	25.5%	58.9%	11.5%	100.0%	
	女性	2	2	3	5	20	195	430	34	691	78.3%
	割合	0.3%	0.3%	0.4%	0.7%	2.9%	28.2%	62.2%	4.9%	100.0%	
	合計	3	2	5	5	25	244	543	56	883	
	割合	0.3%	0.2%	0.6%	0.6%	2.8%	27.6%	61.5%	6.3%	100.0%	
	前年比	-7	-11	-3	-7	+10	+22	+59	+5	+68	
	増減率	-70.0%	-84.6%	-37.5%	-58.3%	+66.7%	+9.9%	+12.2%	+9.8%	+8.3%	
R3年	男性	3	4	1	3	4	44	89	21	169	20.7%
	割合	1.8%	2.4%	0.6%	1.8%	2.4%	26.0%	52.7%	12.4%	100.0%	
	女性	7	9	7	9	11	178	395	30	646	79.3%
	割合	1.1%	1.4%	1.1%	1.4%	1.7%	27.6%	61.1%	4.6%	100.0%	
	合計	10	13	8	12	15	222	484	51	815	
	割合	1.2%	1.6%	1.0%	1.5%	1.8%	27.2%	59.4%	6.3%	100.0%	

○ 被害者の割合は、年代別では、70代以上が全体の95.5%(843人)を占めており、男女別では、女性が78.3%(691人)を占めている。

いずれも、特殊詐欺全体(70代以上88.4%、女性76.4%)と比べ、高い割合になっている。

## ウ 欺罔者(登場人物)別

【オレオレ詐欺の認知件数 883件】

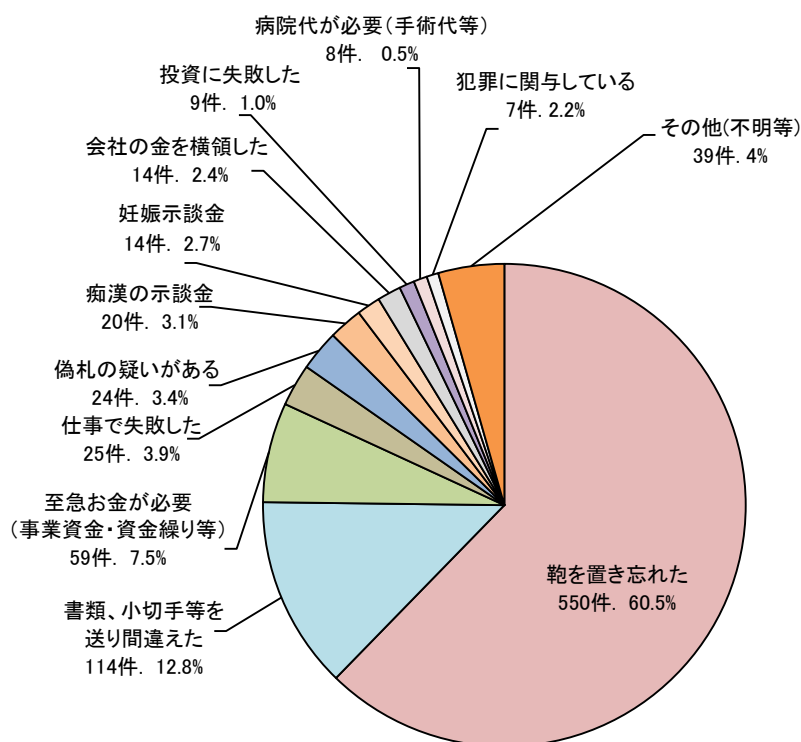


※ 犯人が最初に騙った人物を計上

- 息子や孫等の「親族」騙りが全体の89.9%(794件)を占め、そのうち「息子」騙りが65.1%(575件)と最も多く、次いで「孫」騙りが14.3%(126件)となっている。

## エ 欺罔文言(だまし文句)別

【オレオレ詐欺の認知件数 883件】

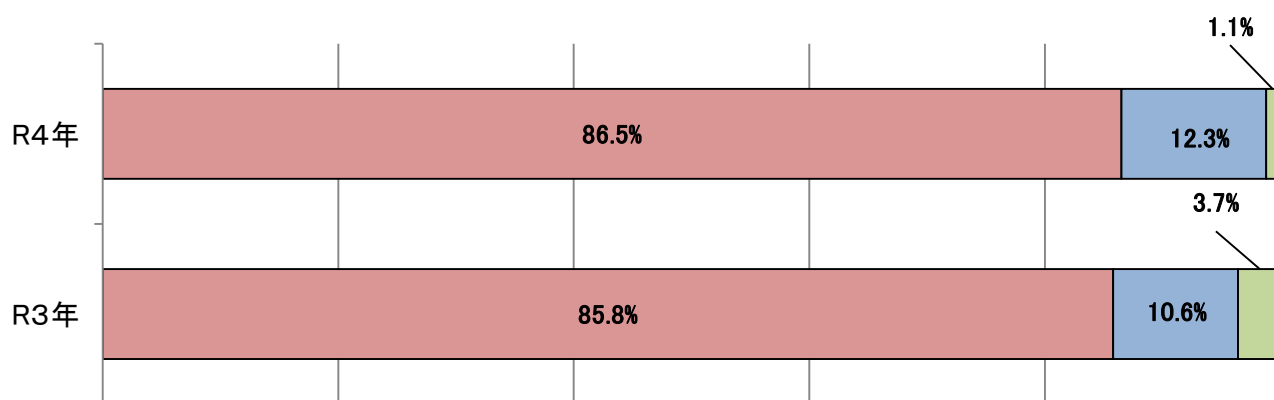


## オ 被害金等受取方法別

	現金			キャッシュカード		その他 不明	合計
	手交	振込	送付	手交	送付		
R4年	764	10	0	109	0	0	883
割合	86.5%	1.1%	0.0%	12.3%	0.0%	0.0%	100.0%
前年比	+65	-20	±0	+23	±0	±0	+68
増減率	+9.3%	-66.7%	-	+26.7%	-	-	+8.3%
R3年	699	30	0	86	0	0	815
割合	85.8%	3.7%	0.0%	10.6%	0.0%	0.0%	100.0%

※ 被害金等受取方法が複数ある場合は、被害金額が多い受取方法を計上

■ 現金手交      ■ キャッシュカード手交      ■ その他(振込及び送付含む。)



### 【オレオレ詐欺の主な手口】

#### ○ 鞆を無くした(損失補填金等)

親族等を装い、「病院、駅、喫茶店のトイレ等に会社で必要な大事な物(小切手等)が入った鞆を置き忘れて(盗まれて)困っている。」等とうそを言い、現金等をだまし取る手口

#### ○ 会社の大事な書類等の送り先を間違えた(損失補填金等)

親族等を装い、「会社で使う大事な書類又は荷物、郵便物などの送り先を間違えてしまい、お金が必要になった。」等とうそを言い、現金等をだまし取る手口

#### ○ 会社の金を使い込んだ

親族等を装い、「会社のお金を使って株又は投資に失敗してしまった。今日、監査が入る。穴埋めのお金を貸してくれないか。」等とうそを言い、現金等をだまし取る手口

#### ○ 『偽札』にすり替えられている

警察官等を装い、「犯人を逮捕しました。あなたの家に侵入して、お金を偽札にすり替えたようです。お金を確認するため、警察官を自宅に向かわせます。」等とうそを言い、現金等をだまし取る手口



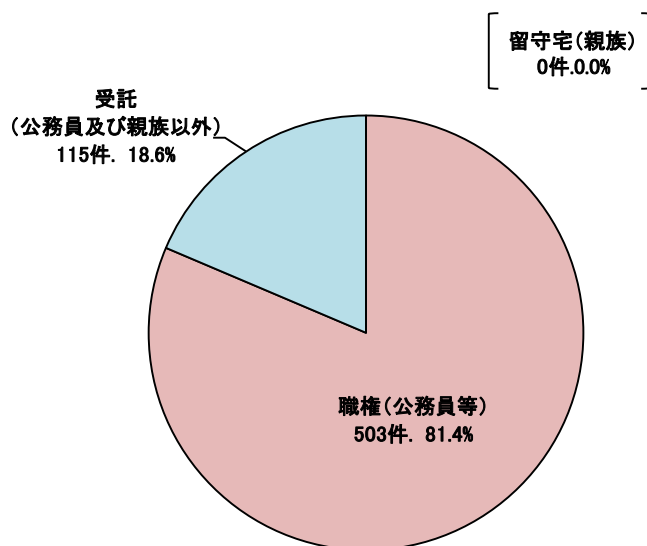
### (3) 預貯金詐欺

#### ア 手口別認知件数

	認知件数	R4年			認知件数	R3年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
職権(公務員等)	503	474	29	523,767,970	664	643	21	940,840,111
留守宅(親族)	0	0	0	0	0	0	0	0
受託(公務員及び親族以外)	115	111	4	125,990,000	113	106	7	110,844,360
合計	618	585	33	649,757,970	777	749	28	1,051,684,471
前年比	-159	-164	+5	-401,926,501				

#### イ 手口別割合

【預貯金詐欺の認知件数 618件】



#### 【預貯金詐欺とは】

##### ○ 職権(公務員等)

警察官、金融庁、市役所等の公務員又は公益事業者(水道局、電気会社、ガス会社等)等の職員を騙り、カード交換などの名目でキャッシュカード等をだまし取る手口

##### ○ 受託(公務員及び親族以外)

百貨店店員、家電量販店店員、銀行協会等を騙り、公務員、親族以外の者に成りすまして、カード交換などの名目でキャッシュカードをだまし取る手口

#### 【主な手口】

##### ○ 還付金がある

区・市役所の職員等を騙り、「市役所の者です。年金の還付金があります。銀行振込できますが、あなたのキャッシュカードは古いので、交換する必要があります。」等とうそを言い、キャッシュカードをだまし取る手口

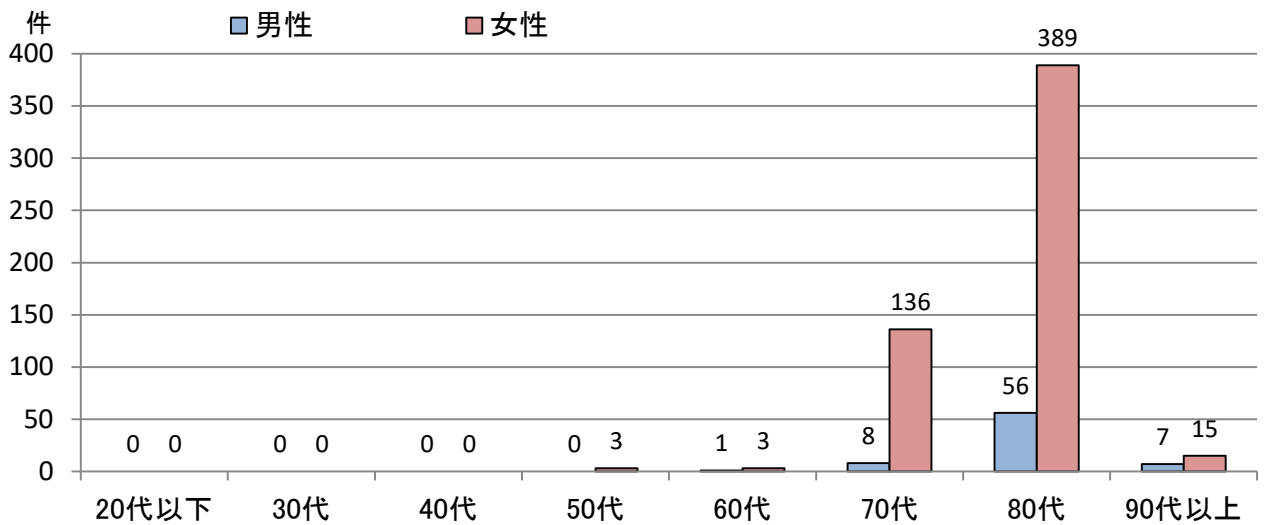
##### ○ あなたのカードが犯罪に使われている

警察官等を騙り、「犯人を逮捕しました。あなたの口座からお金が引き出されています。カードはお持ちですか。偽造されている可能性があるので、カードと暗証番号を変更する必要があります。」等とうそを言い、キャッシュカードをだまし取る手口

##### ○ キャッシュカードに切れ込みやパンチで穴を開け安心させる

警察官等を騙り「キャッシュカードが不正に使用され、あなたの口座からお金が引き出されています。」等とうそを言い、キャッシュカードに切れ込みを入れ(パンチで穴を開け)、もう使えなくなったと安心させて、キャッシュカードをだまし取る手口

## ウ 被害者（年代別・男女別）



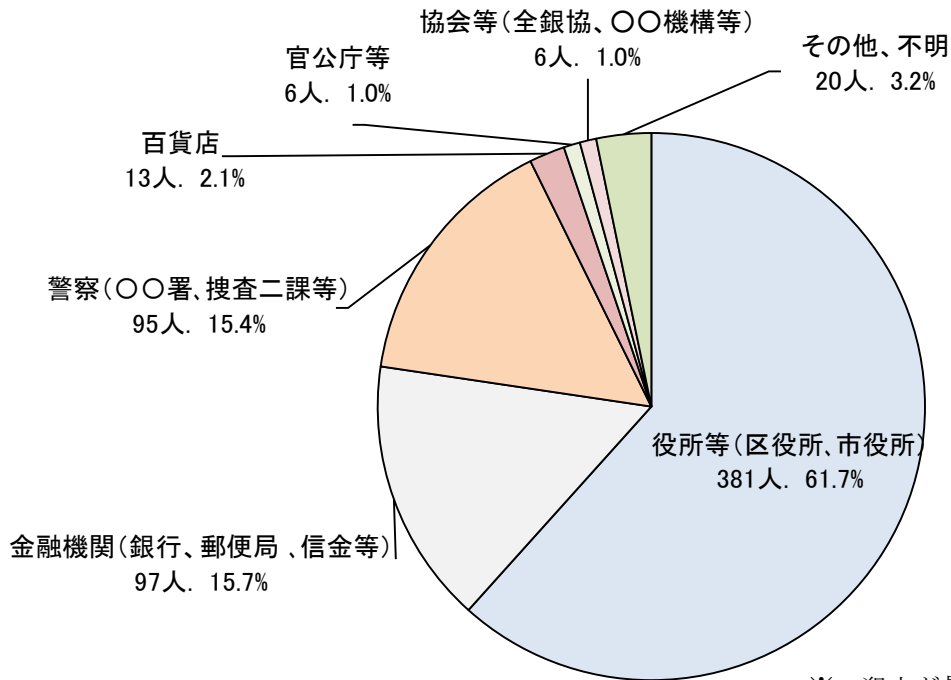
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R4年	男性	0	0	0	0	1	8	56	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	11.1%	77.8%	9.7%	100.0%	
	女性	0	0	0	3	3	136	389	15	546	88.3%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.5%	24.9%	71.2%	2.7%	100.0%	
	合計	0	0	0	3	4	144	445	22	618	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.6%	23.3%	72.0%	3.6%	100.0%	
	前年比	±0	±0	-1	-4	-13	-71	-44	-26	-159	
	増減率	-	-	-100.0%	-57.1%	-76.5%	-33.0%	-9.0%	-54.2%	-20.5%	
R3年	男性	0	0	0	2	5	47	83	19	156	20.1%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	3.2%	30.1%	53.2%	12.2%	100.0%	
	女性	0	0	1	5	12	168	406	29	621	79.9%
	割合	0.0%	0.0%	0.2%	0.8%	1.9%	27.1%	65.4%	4.7%	100.0%	
	合計	0	0	1	7	17	215	489	48	777	
	割合	0.0%	0.0%	0.1%	0.9%	2.2%	27.7%	62.9%	6.2%	100.0%	

○ 被害者の割合は、70代以上が全体の98.9%(611人)を占めており、男女別では、女性が88.3%(546人)を占めている。

いずれも、特殊詐欺全体の割合(70代以上88.4%、女性76.4%)と比べ高くなっている。

## エ 欺罔者(登場人物)別

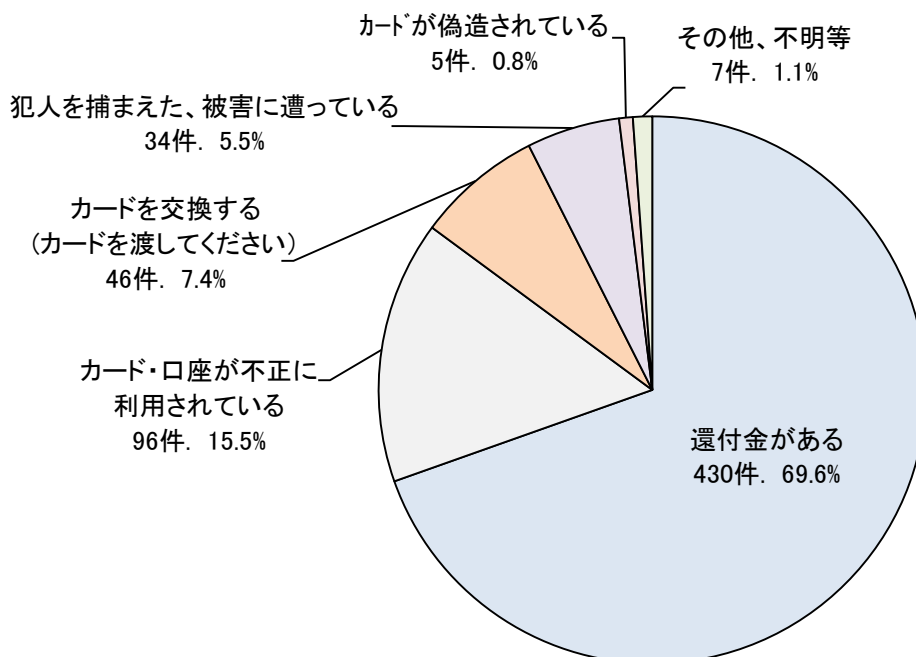
【認知件数 618件】



※ 犯人が最初に騙った人物を計上

## オ 欺罔文言(だまし文句)別

【認知件数 618件】

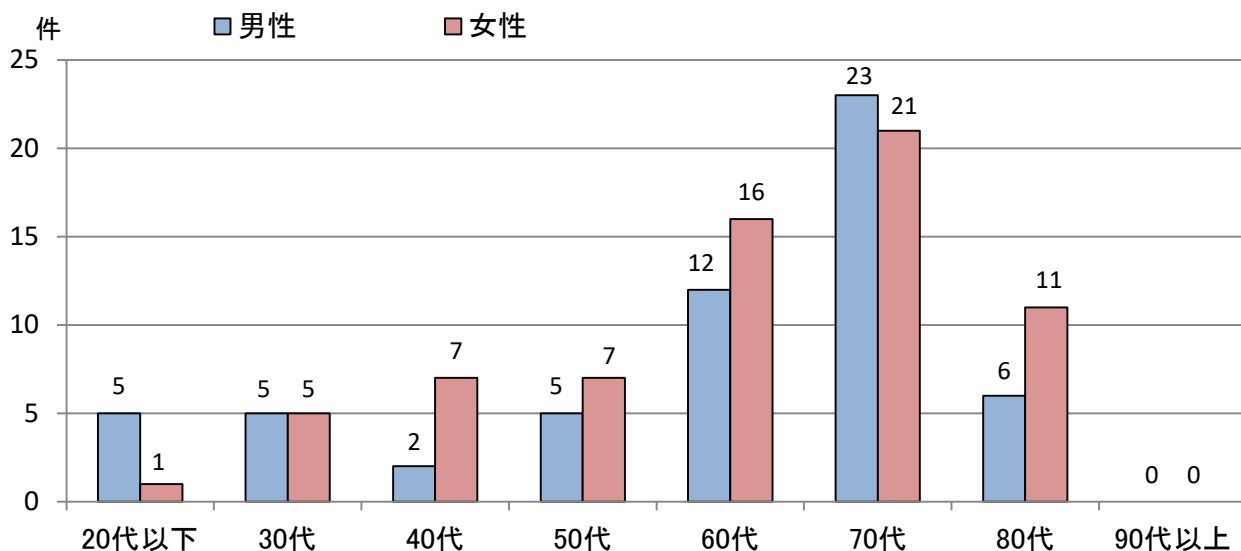


(4) 架空料金請求詐欺

ア 騙しの名目別

	認知件数	R4年			認知件数	R3年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
有料サイト利用料金等	94	93	1	554,184,890	108	108	0	305,579,130
名義貸しトラブル等	0	0	0	0	1	1	0	5,000,000
情報買取抹消料金等	1	1	0	19,800,000	1	1	0	140,000
訴訟関係費用等	1	1	0	750,000	4	3	1	95,138,800
その他	30	30	0	448,661,472	50	50	0	106,472,726
合計	126	125	1	1,023,396,362	164	163	1	512,330,656
前年比	-38	-38	±0	+511,065,706				

イ 被害者（年代別・男女別）



		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合	
		R4年	男性	5	5	2	5	12	23	6		0
割合	8.6%		8.6%	3.4%	8.6%	20.7%	39.7%	10.3%	0.0%	100.0%		
女性	1		5	7	7	16	21	11	0	68	54.0%	
割合	1.5%		7.4%	10.3%	10.3%	23.5%	30.9%	16.2%	0.0%	100.0%		
合計	6		10	9	12	28	44	17	0	126		
割合	4.8%		7.9%	7.1%	9.5%	22.2%	34.9%	13.5%	0.0%	100.0%		
前年比	-4	-2	-11	-13	-10	-6	+8	±0	-38			
増減率	-40.0%	-16.7%	-55.0%	-52.0%	-26.3%	-12.0%	+88.9%	-	-23.2%			
R3年	男性	4	6	11	17	21	20	7	0	86	52.4%	
	割合	4.7%	7.0%	12.8%	19.8%	24.4%	23.3%	8.1%	0.0%	100.0%		
	女性	6	6	9	8	17	30	2	0	78		47.6%
	割合	7.7%	7.7%	11.5%	10.3%	21.8%	38.5%	2.6%	0.0%	100.0%		
合計	10	12	20	25	38	50	9	0	164			
割合	6.1%	7.3%	12.2%	15.2%	23.2%	30.5%	5.5%	0.0%	100.0%			

○ 各年代で男女を問わず発生している。

## ウ 被害金等受取方法別

	現金				キャッシュカード		コンビニ決済	ATM決済 (ペイジー)	その他 不明	合計
	電子マネー	手交	振込	送付	手交	送付				
R4年	39	4	66	12	0	0	4	0	1	126
割合	31.0%	3.2%	52.4%	9.5%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	0.8%	100.0%
前年比	-12	+3	-27	-3	±0	±0	±0	±0	+1	-38
増減率	-23.5%	+300.0%	-29.0%	-20.0%	-	-	±0.0%	-	-	-23.2%
R3年	51	1	93	15	0	0	4	0	0	164
割合	31.1%	0.6%	56.7%	9.1%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	100.0%

※ 被害金等受取方法が複数ある場合は、被害金額が多い受取方法を計上

- 受取方法の割合では、現金振込が最も高く、全体の52.4%(66件)を占め、次いで電子マネーが31.0%(39件)となっている。

### 【架空料金請求詐欺の主な手口】

#### ○ 有料サイト利用料金等名目

パソコン、携帯電話等に「有料サイトの利用料金等が未納である」という内容のメールを送信し、指定された電話番号に電話すると、「利用料金や延滞料金等を支払わないと訴訟になる。」等とうそを言い、金銭等をだまし取る手口

#### ○ 『NTTファイナンス』騙り

「NTTファイナンスお客様サポートセンター」を騙り、携帯電話等に「ご利用料金の確認が取れておりません。」という内容のメールを送信し、指定された電話番号に電話すると、「お金を納めないと裁判になります。本日中に納めてください。日本個人データ保護協会に申請を出せば支払ったお金の95%が返金されます。コンビニに行って電子マネーを購入してください。」等とうそを言い、金銭等をだまし取る手口

(5) 還付金詐欺

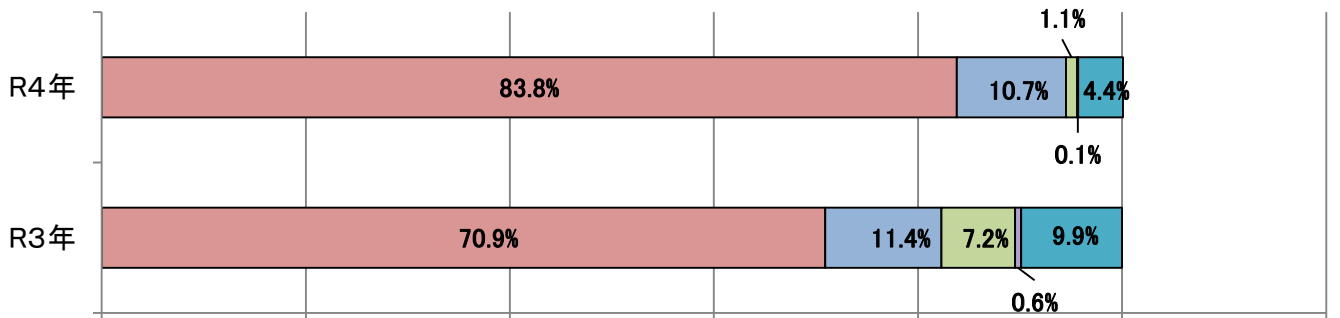
ア 騙しの名目別 (認知件数)

	R4年				R3年			
	認知件数	既遂	未遂	被害金額	認知件数	既遂	未遂	被害金額
医療費	707	707	0	1,010,302,402	632	630	2	858,662,455
健康保険・社会保険等	90	90	0	95,157,521	102	102	0	157,068,557
年金	9	9	0	8,449,977	64	64	0	95,892,118
税金	1	1	0	1,937,932	5	5	0	5,960,405
その他	37	37	0	45,310,679	88	88	0	121,116,446
合計	844	844	0	1,161,158,511	891	889	2	1,238,699,981
前年比	-47	-45	-2	-77,541,470				

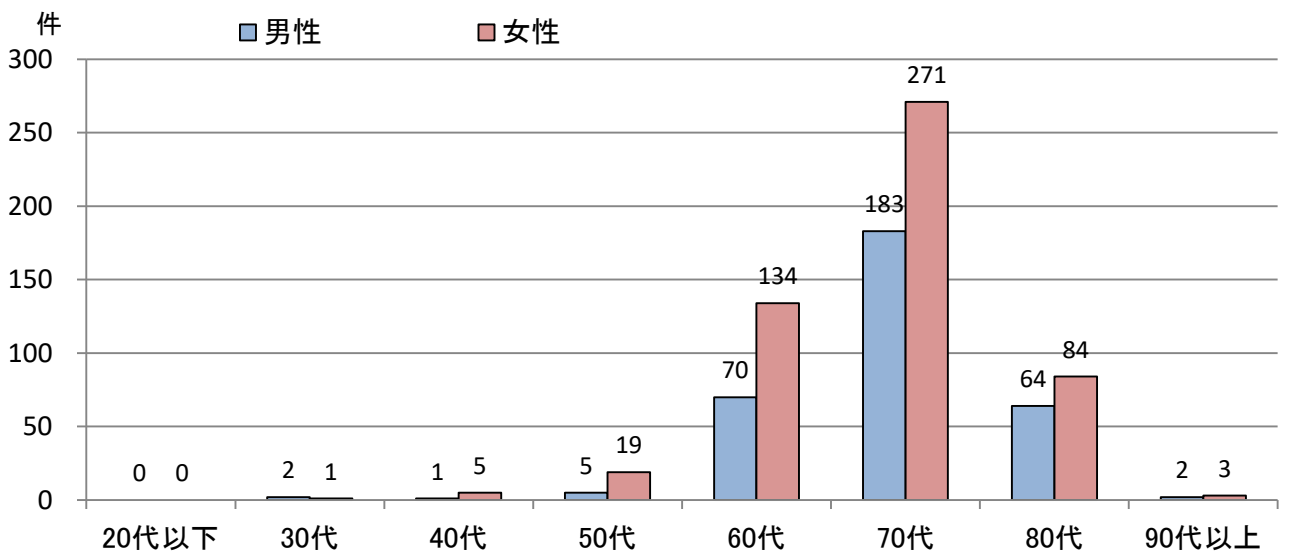
イ 騙しの名目別 (割合)

	医療費	保険料	年金	税金	その他	合計
R4年	707	90	9	1	37	844
割合	83.8%	10.7%	1.1%	0.1%	4.4%	100.0%
R3年	632	102	64	5	88	891
割合	70.9%	11.4%	7.2%	0.6%	9.9%	100.0%

■ 医療費 ■ 保険料 ■ 年金 ■ 税金 ■ その他



ウ 被害者 (年代別・男女別)



		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
R4年	男性	0	2	1	5	70	183	64	2	327	38.7%
	割合	0.0%	0.6%	0.3%	1.5%	21.4%	56.0%	19.6%	0.6%	100.0%	
	女性	0	1	5	19	134	271	84	3	517	61.3%
	割合	0.0%	0.2%	1.0%	3.7%	25.9%	52.4%	16.2%	0.6%	100.0%	
	合計	0	3	6	24	204	454	148	5	844	
	割合	0.0%	0.4%	0.7%	2.8%	24.2%	53.8%	17.5%	0.6%	100.0%	
前年比	±0	+2	±0	+11	+64	-100	-27	+3	-47		
増減率	-	+200.0%	±0.0%	+84.6%	+45.7%	-18.1%	-15.4%	+150.0%	-5.3%		
R3年	男性	0	0	4	4	38	182	92	2	322	36.1%
	割合	0.0%	0.0%	1.2%	1.2%	11.8%	56.5%	28.6%	0.6%	100.0%	
	女性	0	1	2	9	102	372	83	0	569	63.9%
	割合	0.0%	0.2%	0.4%	1.6%	17.9%	65.4%	14.6%	0.0%	100.0%	
合計	0	1	6	13	140	554	175	2	891		
割合	0.0%	0.1%	0.7%	1.5%	15.7%	62.2%	19.6%	0.2%	100.0%		

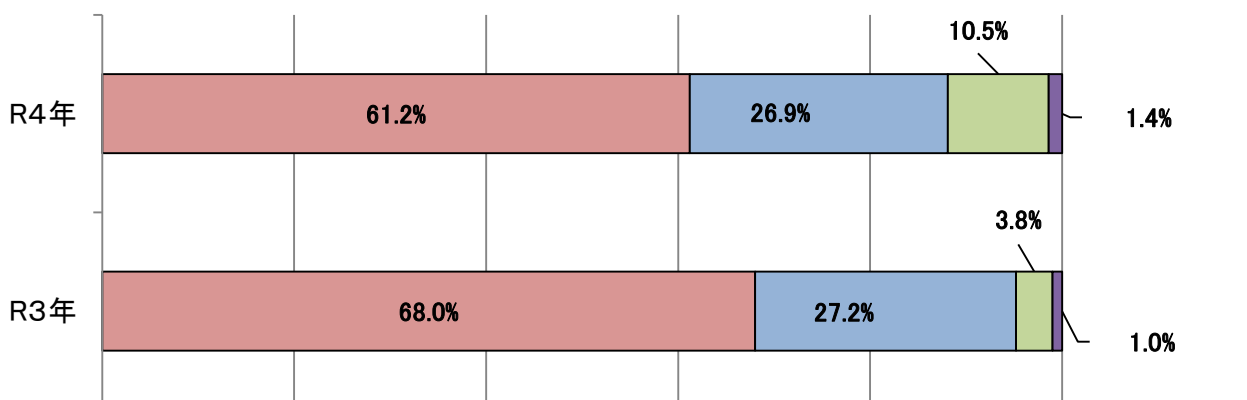
○ 被害者の割合は、70代以上が全体の71.9%(607人)を占めており、男女別では、女性が61.3%(517人)を占めている。

いずれも、特殊詐欺全体(70代以上88.4%、女性76.4%)と比べ、割合は低くなっている。

### エ 場所別の振込回数（被害者が誘導され振込んだ場所）

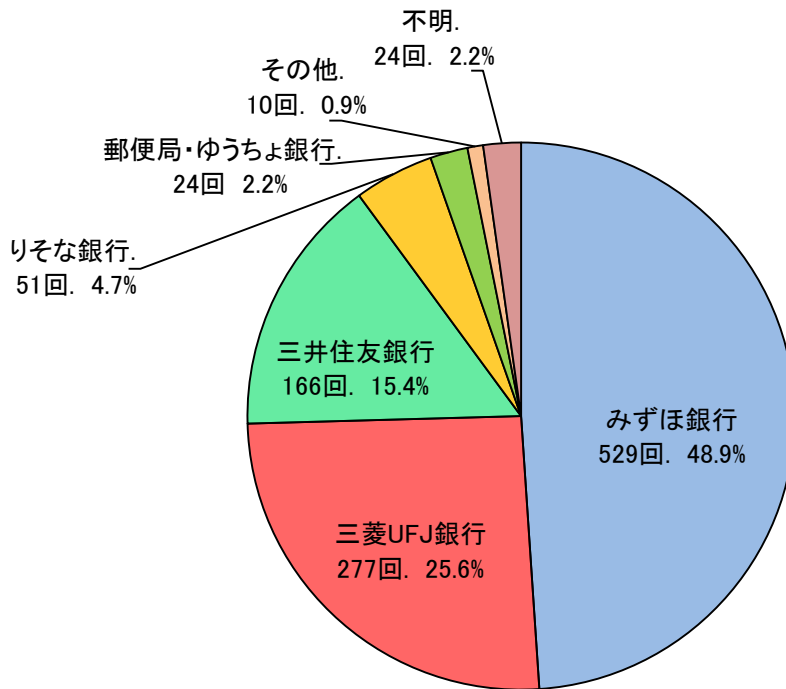
		金融機関 無人ATM	金融機関 店舗内ATM	コンビニ ATM	その他 不明	合計
R4年		1,081	474	186	24	1,765
	割合	61.2%	26.9%	10.5%	1.4%	100.0%
R3年		1,293	517	73	19	1,902
	割合	68.0%	27.2%	3.8%	1.0%	100.0%

■金融機関無人ATM ■金融機関店舗内ATM ■コンビニATM ■その他・不明



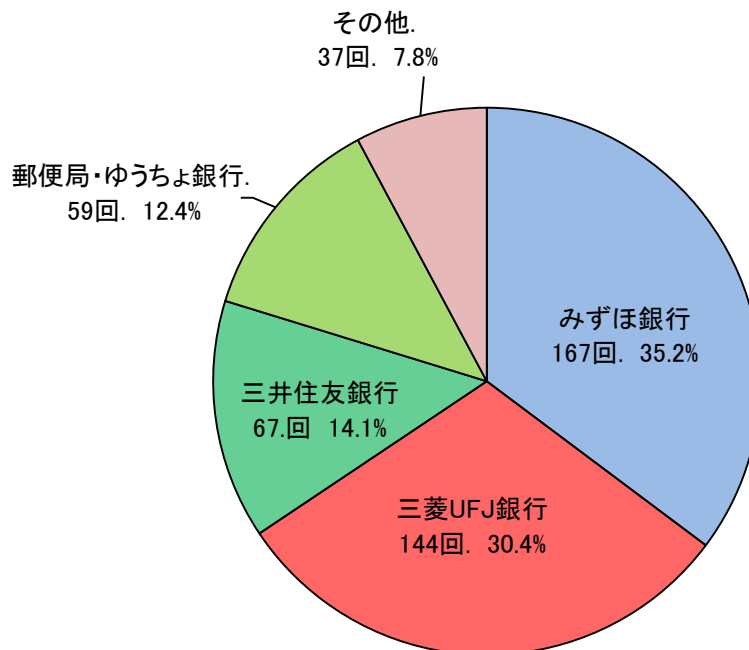
## 金融機関別【無人ATM】

【振込回数 1,081回】



## 金融機関別【店舗内ATM】

【振込回数 474回】





オ 口座別の振込回数等（被害者が開設・利用していた口座）

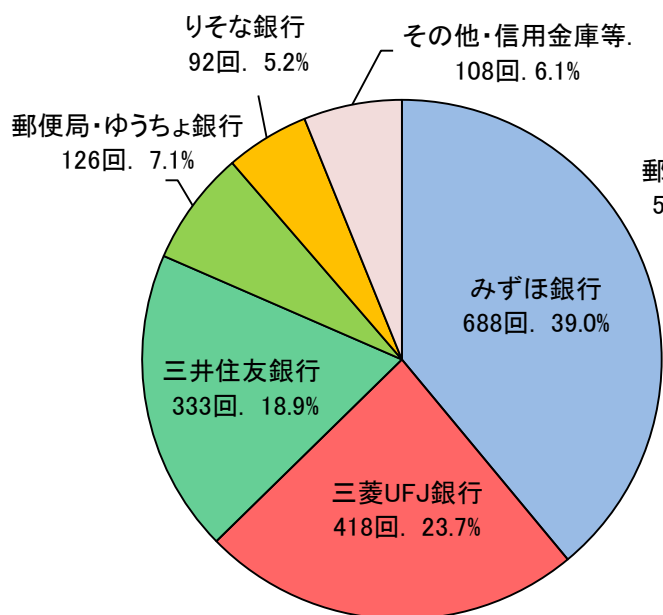
振込の回数

	みずほ銀行	三菱UFJ銀行	三井住友銀行	郵便局・ゆうちょ銀行	りそな銀行	その他金融機関	合計
R4年	688	418	333	126	92	108	1,765
割合	39.0%	23.7%	18.9%	7.1%	5.2%	6.1%	100.0%
R3年	726	457	368	129	89	133	1,902
割合	38.2%	24.0%	19.3%	6.8%	4.7%	7.0%	100.0%

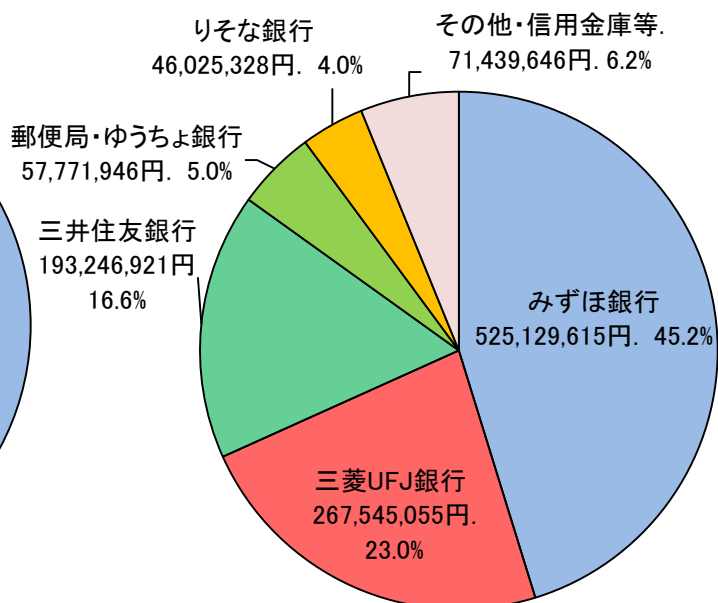
振込被害金額

	みずほ銀行	三菱UFJ銀行	三井住友銀行	郵便局・ゆうちょ銀行	りそな銀行	その他金融機関	合計
R4年	525,129,615	267,545,055	193,246,921	57,771,946	46,025,328	71,439,646	1,161,158,511
割合	45.2%	23.0%	16.6%	5.0%	4.0%	6.2%	100.0%
R3年	566,032,703	303,389,274	178,829,453	58,242,159	30,489,560	101,716,832	1,238,699,981
割合	45.7%	24.5%	14.4%	4.7%	2.5%	8.2%	100.0%

【振込回数 1,765回】



【振込被害金額 11億6,115万8,511円】



## (6) 融資保証金詐欺

### ア 認知件数

	認知件数	R4年			認知件数	R3年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
融資保証金	5	5	0	3,831,293	16	16	0	28,571,634
合計	5	5	0	3,831,293	16	16	0	28,571,634
前年比	-11	-11	±0	-24,740,341				

### イ 被害者（年代別・男女別）

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合	
R4年	男性	1	2	0	1	0	0	0	0	4	80.0%	
	割合	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	女性	0	1	0	0	0	0	0	0	1		20.0%
	割合	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	合計	1	3	0	1	0	0	0	0	5		
	割合	20.0%	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
前年比	-3	+2	-3	-1	-2	-2	-2	-2	±0	-11		
増減率	-75.0%	+200.0%	-100.0%	-50.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-	-68.8%		
R3年	男性	1	1	3	2	2	2	2	0	13	81.3%	
	割合	7.7%	7.7%	23.1%	15.4%	15.4%	15.4%	15.4%	0.0%	100.0%		
	女性	3	0	0	0	0	0	0	0	3		18.8%
	割合	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	合計	4	1	3	2	2	2	2	0	16		
	割合	25.0%	6.3%	18.8%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%	100.0%		

#### 【融資保証金詐欺とは】

融資を申し込んできた者に対し、実際は融資をしないにもかかわらず、保証金等の名目で金銭等をだまし取る(脅し取る)手口

#### 【手口例】

- 被害者宅事務所に、「融資できます。手続きのため、先に手数料や担保金を振り込む必要があるが、後で返金する。」等の内容の融資に関するFAXを送信し、融資を受けたいがために連絡をしてきた被害者から金銭等をだまし取るもの

## (7) 金融商品詐欺

### ア 騙しの名目別

	認知件数	R4年			認知件数	R3年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
有価証券等	0	0	0	0	0	0	0	0
外国通貨	3	3	0	62,550,000	0	0	0	0
物品	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(上記以外)	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	3	0	62,550,000	0	0	0	0
前年比	+3	+3	±0	+62,550,000				

### イ 被害者（年代別・男女別）

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R4年	男性	0	0	0	1	0	0	0	0
割合	0.0%		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
女性	0		1	0	1	0	0	0	0	2	66.7%
割合	0.0%		50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
合計	0		1	0	2	0	0	0	0	3	
割合	0.0%		33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
前年比	±0	+1	±0	+2	±0	±0	±0	±0	±0	+3	
増減率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
R3年	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
割合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

#### 【金融商品詐欺とは】

手形、小切手、株券及び社債券等の有価証券や、外国通貨及び物品等の購入名目等で金銭等をだまし取る手口

#### 【手口例】

- 被害者宅の固定電話に架電し、会社員を騙り、「金融庁の監査が入って、あなたに名義貸しの疑いがかけられています。回避するには、貯蓄債権を購入してもらえば、名義貸しがなかったこととなります。」等とうそを言い、債権購入を促し、現金等をだまし取るもの

## (8) ギャンブル詐欺

### ア 騙しの名目別

	認知件数	R4年			認知件数	R3年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
パチンコ必勝法等	0	0	0	0	0	0	0	0
競馬必勝法等	8	8	0	110,697,532	3	3	0	233,000
宝くじ当選情報等	0	0	0	0	1	1	0	11,000,000
その他(上記以外)	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8	8	0	110,697,532	4	4	0	11,233,000
前年比	+4	+4	±0	+99,464,532				

### イ 被害者（年代別・男女別）

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
R4年	男性	0	0	0	0	3	3	0	0	6	75.0%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	女性	0	0	0	0	2	0	0	0	2	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	合計	0	0	0	0	5	3	0	0	8	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	100.0%	
	前年比	±0	±0	-1	±0	+5	+1	-1	±0	+4	
	増減率	-	-	-100.0%	-	-	+50.0%	-100.0%	-	+100.0%	
R3年	男性	0	0	1	0	0	0	1	0	2	50.0%
	割合	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%	
	女性	0	0	0	0	0	2	0	0	2	
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	合計	0	0	1	0	0	2	1	0	4	
	割合	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	100.0%	

#### 【ギャンブル詐欺とは】

パチンコ、競馬及び競輪等の必勝法情報購入等の名目で金銭等をだまし取る手口

#### 【手口例】

- 被害者の携帯電話に「当社はお客様から出資金を募り、馬券を代理購入する会社です。当社が独自に持っている有力な競馬情報を元に、お客様の代わりに馬券を購入して、馬券が当たればお客様の銀行口座に払戻金を振り込みます。今、キャンペーン中で、会員登録して頂きますと5,000円をプレゼントします。」等のメールを送信し、被害者に会員登録させて払戻金の報酬や手数料名目に犯人の指定した口座に現金を振り込ませ、だまし取るもの

(9) 交際あっせん詐欺

ア 認知件数

	認知件数	R4年			認知件数	R3年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
交際あっせん	1	1	0	450,000	0	0	0	0
合計	1	1	0	450,000	0	0	0	0
前年比	±0	±0	±0	+450,000				

イ 被害者（年代別・男女別）

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合	
		R4年	男性	0	0	0	0	0	1	0		0
割合	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
女性	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
割合	-		-	-	-	-	-	-	-	-		
合計	0		0	0	0	0	1	0	0	1		
割合	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
前年比	±0	±0	±0	±0	±0	+1	±0	±0	+1			
増減率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
R3年	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
	割合	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
割合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

【交際あっせん詐欺とは】

不特定多数が購入する雑誌や誰でも閲覧できる掲示板等に「異性紹介」などと掲載したり、不特定多数の者に異性を紹介する旨のメールを送信、架電するなどして、これに応じて会員登録を申し込んできた者に対して会員登録料や保証金等の名目で現金等をだまし取る手口

【手口例】

- 被害者の携帯電話に「あなたに合った女性を紹介します。」等を内容とする出会い系サイトのメールを送信し、被害者が興味を持って、メールに記載された電話番号に電話をかけたところ、電話に出た者が、「男性会員は入会金無料です。女性を紹介するので保証金を当社にお支払いください。」等と言い、現金等をだまし取るもの

(10) その他の特殊詐欺

認知件数

	認知件数	R4年			認知件数	R3年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
その他の特殊詐欺	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0
前年比	±0	±0	±0	±0				

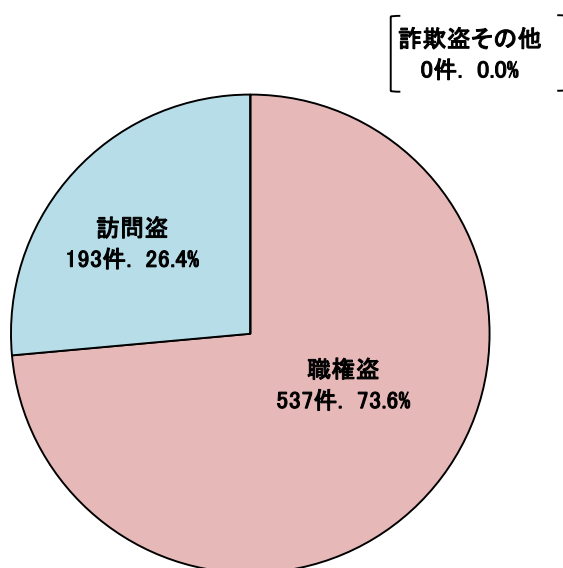
# (11) キャッシュカード詐欺盗

## ア 手口別認知件数

	認知件数	R4年			認知件数	R3年		
		既遂	未遂	被害金額		既遂	未遂	被害金額
職権盗	537	530	7	847,082,006	570	567	3	1,048,489,361
訪問盗	193	193	0	250,133,000	81	81	0	138,681,000
詐欺盗その他	0	0	0	0	1	1	0	1,200,000
合計	730	723	7	1,097,215,006	652	649	3	1,188,370,361
前年比	+78	+74	+4	-91,155,355				

## イ 手口別割合

【キャッシュカード詐欺盗の認知件数 730件】



### 【キャッシュカード詐欺盗とは】

- 職権盗 ～ 警察官、金融庁及び市役所等の公務員又は公益事業者(水道局、電気会社及びガス会社等)などを騙る者が、カードの交換などの名目でキャッシュカード等を窃取するもの
- 訪問盗 ～ 百貨店店員、家電量販店店員及び銀行協会等を騙り、公務員、親族以外の者になりすましてカードの交換等の名目でキャッシュカードを窃取するもの

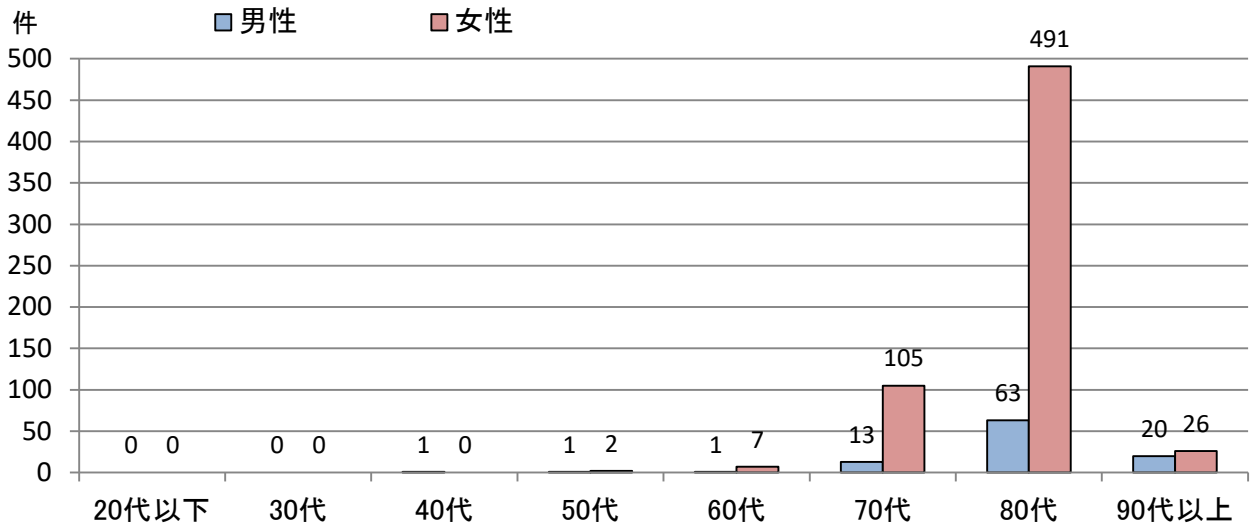
### 【主な手口】

- キャッシュカード在中の封筒を別の封筒にすり替えて盗み取る  
警察官等を騙り、「犯人を逮捕しました。あなたの口座から現金が引き出されています。カードを確認する必要があります。」等とうそを言い、キャッシュカードをすり替えて、盗み取る手口

### 【手口例】

- 警察官等を騙り、被害者宅を訪れ、自ら準備してきた封筒に被害者名義等のキャッシュカード及び暗証番号記載のメモを入れさせた後、封印するために、「印鑑を持ってきてください。」と被害者に申し向け、被害者が印鑑を取りに行った際に、あらかじめ準備していたポイントカード、トランプ等在中の封筒にすり替えて、戻ってきた被害者にすり替えた封筒に封印させた後、「新しいカードが届くまで、この封筒は開封せずに保管しておいてください。」などと申し向け、すり替えたキャッシュカードを盗み取るもの

## ウ 被害者（年代別・男女別）



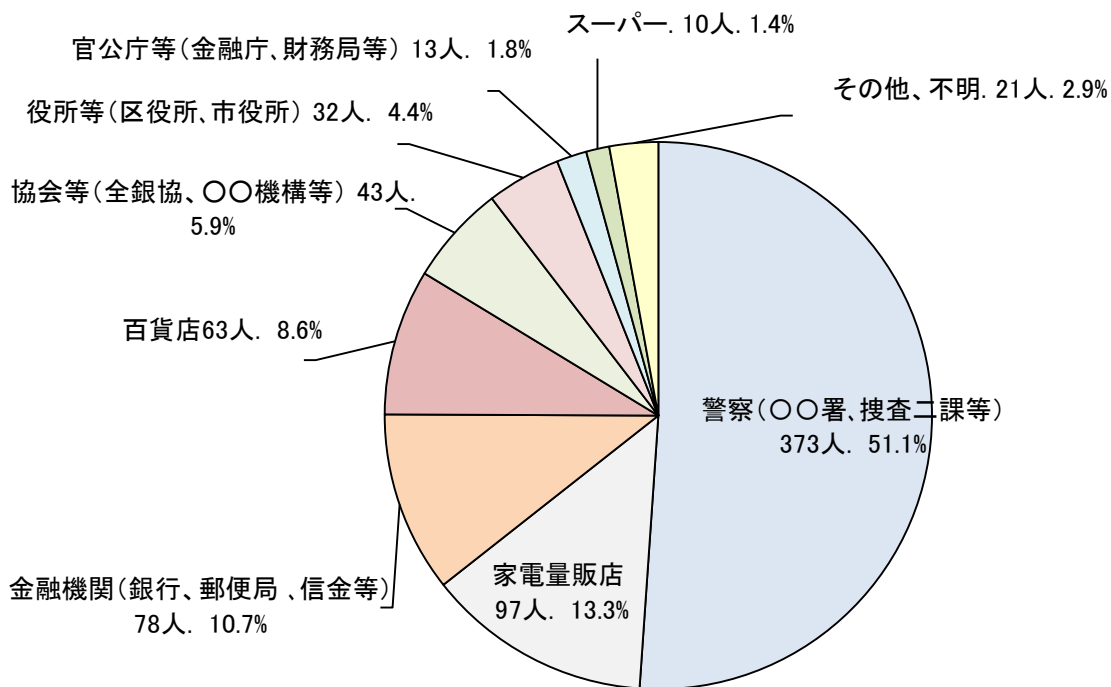
		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
		R4年	男性	0	0	1	1	1	13	63	
	割合	0.0%	0.0%	1.0%	1.0%	1.0%	13.1%	63.6%	20.2%	100.0%	
	女性	0	0	0	2	7	105	491	26	631	86.4%
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	1.1%	16.6%	77.8%	4.1%	100.0%	
	合計	0	0	1	3	8	118	554	46	730	
	割合	0.0%	0.0%	0.1%	0.4%	1.1%	16.2%	75.9%	6.3%	100.0%	
	前年比	±0	±0	-1	-1	-4	-31	+109	+6	+78	
	増減率	-	-	-50.0%	-25.0%	-33.3%	-20.8%	+24.5%	+15.0%	+12.0%	
R3年	男性	0	0	1	2	9	21	64	16	113	17.3%
	割合	0.0%	0.0%	0.9%	1.8%	8.0%	18.6%	56.6%	14.2%	100.0%	
	女性	0	0	1	2	3	128	381	24	539	82.7%
	割合	0.0%	0.0%	0.2%	0.4%	0.6%	23.7%	70.7%	4.5%	100.0%	
	合計	0	0	2	4	12	149	445	40	652	
	割合	0.0%	0.0%	0.3%	0.6%	1.8%	22.9%	68.3%	6.1%	100.0%	

○ 被害者の割合は、70代以上が全体の98.4%(718人)を占めており、男女別では、女性が86.4%(631人)を占めている。

いずれも特殊詐欺全体(70代以上88.4%、女性76.4%)と比べ、高い割合になっている。

## エ 欺罔者(登場人物)別

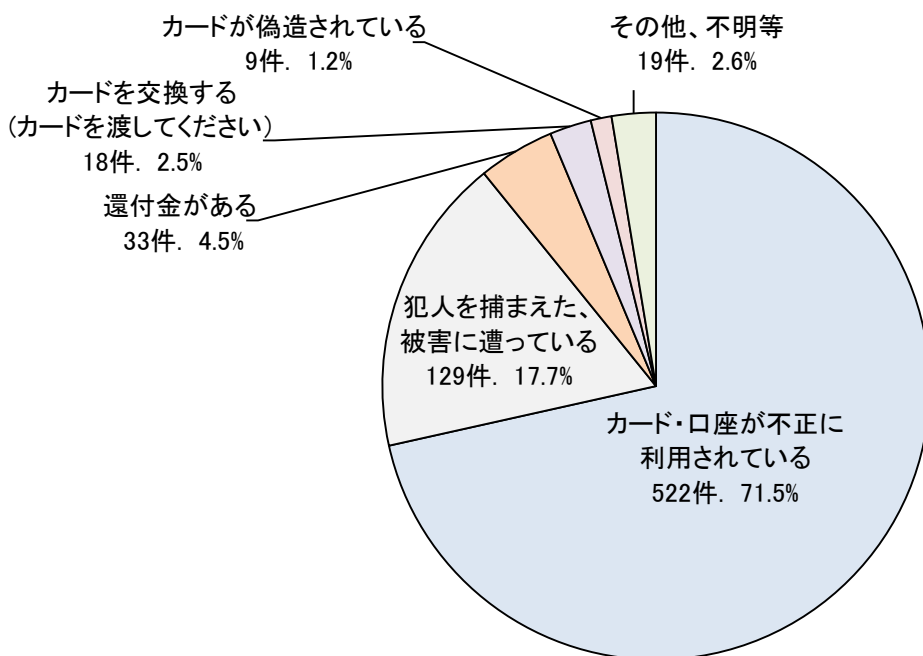
【キャッシュカード詐欺盗の認知件数 730件】



※ 犯人が最初に騙った人物を計上

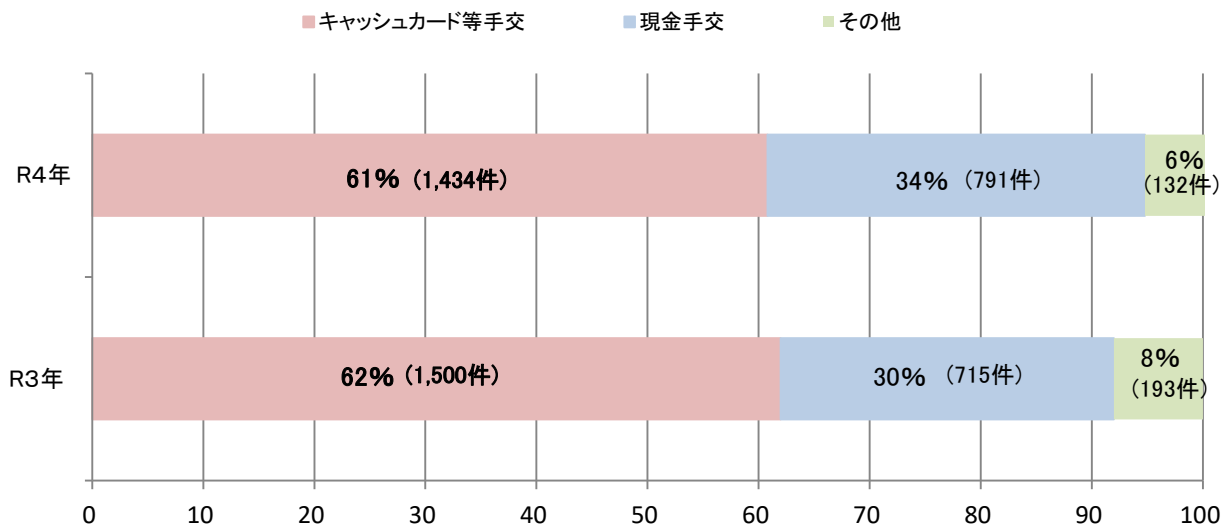
## オ 欺罔文言(だまし文句)別

【認知件数 730件】





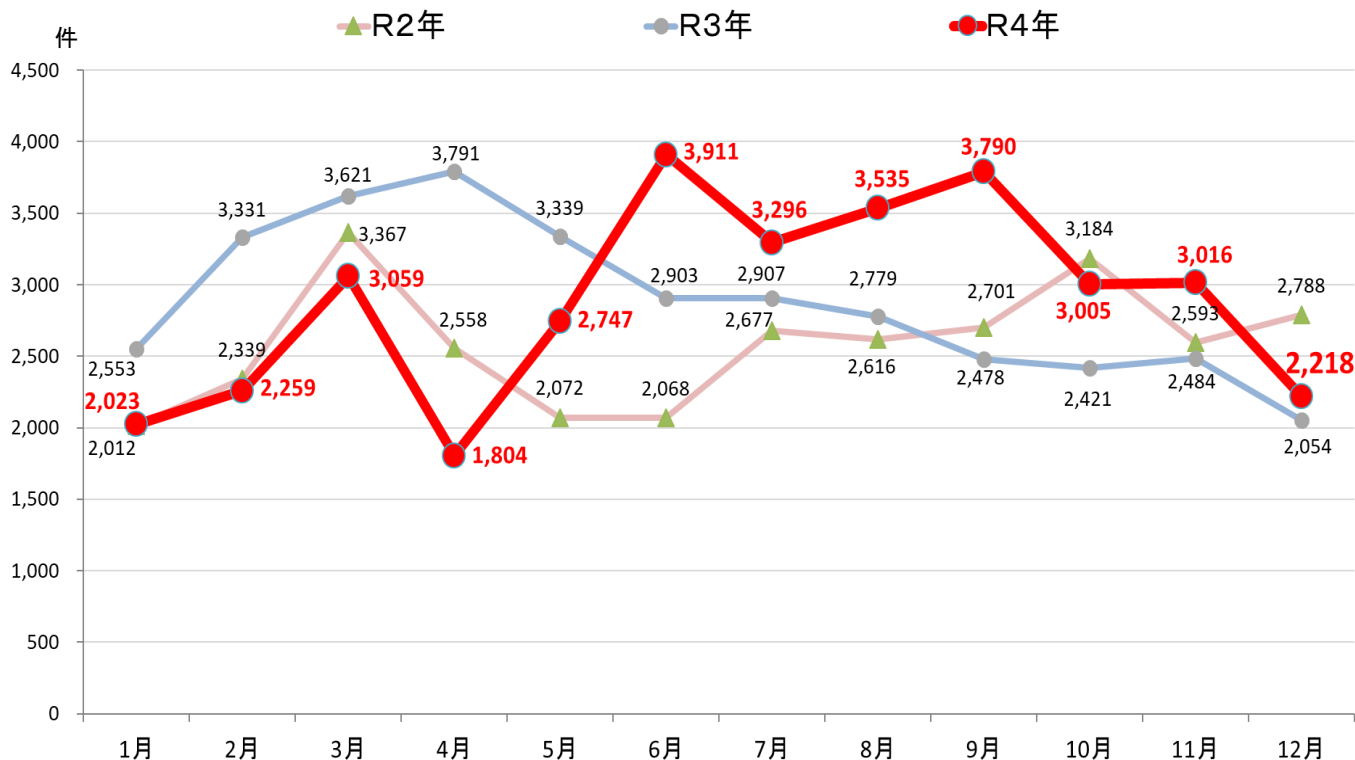
## (12) 全体に占める金品手交等の種別割合



※ グラフの数値は、「オレオレ詐欺」、「預貯金詐欺」、「架空料金請求詐欺」及び「キャッシュカード詐欺盗」の合計を示す (R4年全体2,357件、R3年全体2,408件)

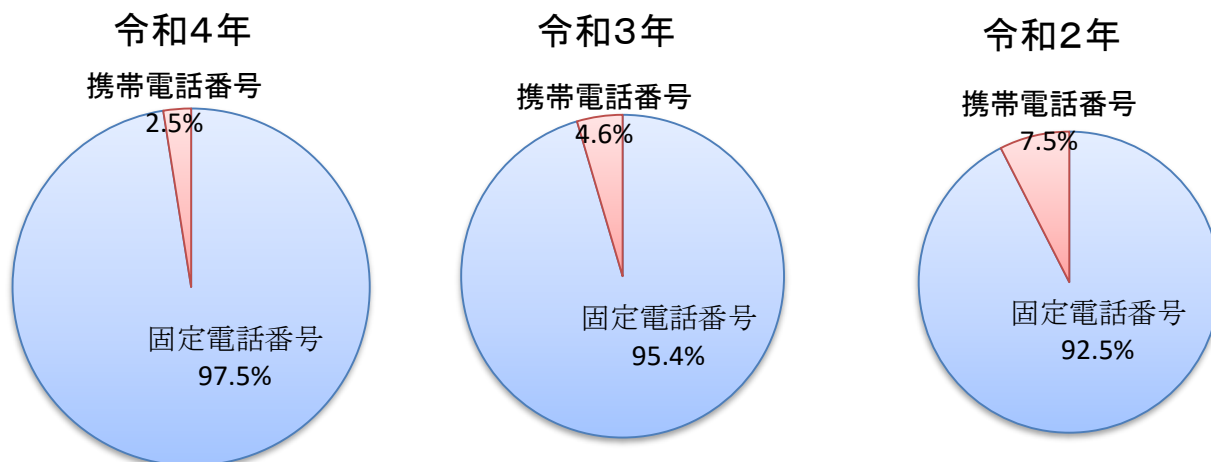
※ 「その他」は、「振込」、「送付」、「電子マネー」及び「コンビニ決済」を示す

## (13) 犯行予兆電話の通報件数



R4年	3万4,663件	(前年比 +2件)
R3年	3万4,661件	(前年比 +3,686件)
R2年	3万 975件	(前年比 -5,739件)

(14) 犯行利用電話の種別



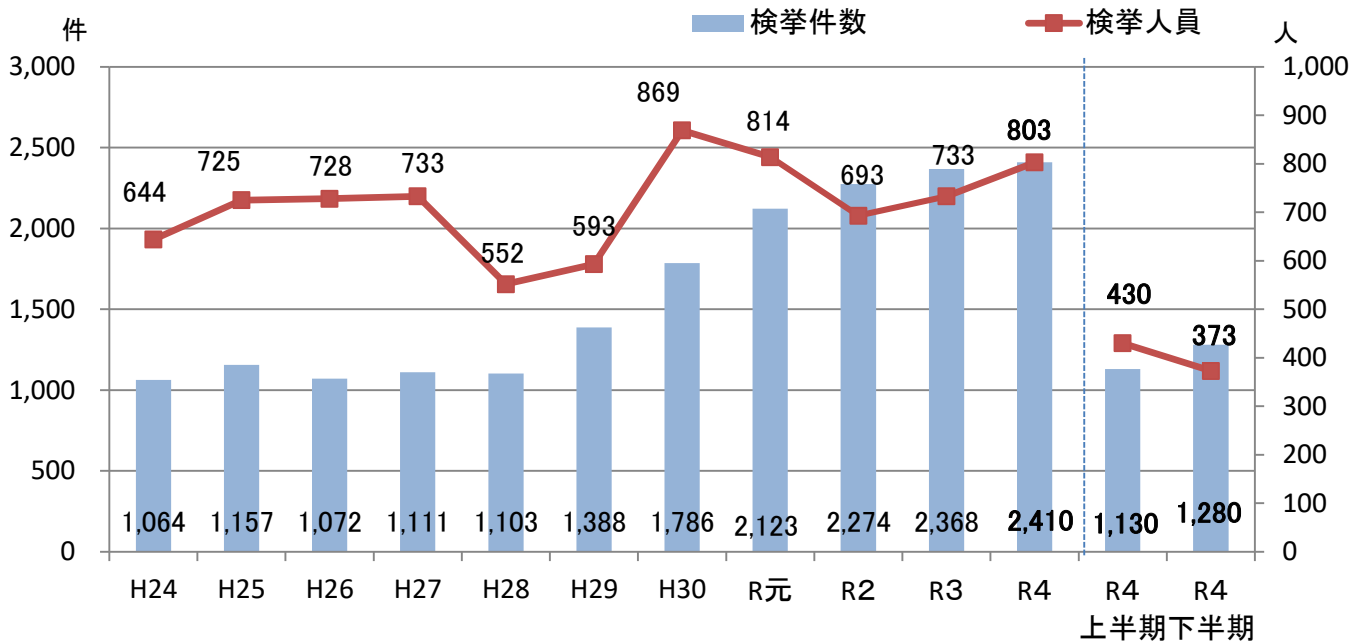
※ 当庁で把握した犯行利用電話の割合であり、非通知や電話番号不明のものは含まない

※ 固定電話番号には、犯人が使用している固定電話や携帯電話からの発信を、インターネット上で電話転送し、『03又は06』等からはじまる全国の固定電話番号や『050』からはじまる電話番号で、被害者の電話に着信表示されるものを含む

## 2 検挙状況

### (1) 特殊詐欺本犯

#### ア 検挙状況の推移 (H24~R4)



※ H24年からR元年まで「振り込め類似詐欺」を計上、H30年から「キャッシュカード詐欺盗」を計上

#### イ 類型別の検挙状況

	R4年								R3年			
	件数				人員				件数		人員	
	件数	割合	前年比	増減率	人員	割合	前年比	増減率	件数	割合	人員	割合
オレオレ詐欺	645	26.8%	+78	+13.8%	344	42.8%	+64	+22.9%	567	23.9%	280	38.2%
預貯金詐欺	494	20.5%	-159	-24.3%	165	20.5%	-10	-5.7%	653	27.6%	175	23.9%
架空料金請求詐欺	39	1.6%	-83	-68.0%	37	4.6%	+7	+23.3%	122	5.2%	30	4.1%
還付金詐欺	583	24.2%	+154	+35.9%	92	11.5%	+17	+22.7%	429	18.1%	75	10.2%
融資保証金詐欺	11	0.5%	+1	+10.0%	5	0.6%	+2	+66.7%	10	0.4%	3	0.4%
金融商品詐欺	2	0.1%	±0	±0.0%	10	1.2%	+5	+100.0%	2	0.1%	5	0.7%
ギャンブル詐欺	10	0.4%	+10	—	7	0.9%	+7	—	0	0.0%	0	0.0%
交際あっせん詐欺	0	0.0%	±0	—	0	0.0%	±0	—	0	0.0%	0	0.0%
その他の特殊詐欺	0	0.0%	±0	—	0	0.0%	±0	—	0	0.0%	0	0.0%
キャッシュカード詐欺盗	626	26.0%	+41	+7.0%	143	17.8%	-22	-13.3%	585	24.7%	165	22.5%
合計	2,410	100.0%	+42	+1.8%	803	100.0%	+70	+9.5%	2,368	100.0%	733	100.0%

○ 前年同期と比べ、検挙件数及び検挙人員は増加している。

#### ウ 犯行拠点（アジト）摘発状況

	摘発箇所	検挙人員
R4年	11	25
R3年	13	16
前年比	-2	+9

## エ 検挙人員（年代別・男女別）

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別割合
R4年	男	148	329	130	72	32	12	8	3	0	734	91.4%
	割合	20.2%	44.8%	17.7%	9.8%	4.4%	1.6%	1.1%	0.4%	0.0%	100.0%	
	女	10	26	19	9	2	1	2	0	0	69	8.6%
	割合	14.5%	37.7%	27.5%	13.0%	2.9%	1.4%	2.9%	0.0%	0.0%	100.0%	
	合計	158	355	149	81	34	13	10	3	0	803	
	割合	19.7%	44.2%	18.6%	10.1%	4.2%	1.6%	1.2%	0.4%	0.0%	100.0%	
	前年比	+28	-3	+20	+14	±0	+4	+4	+3	±0	+70	
増減率	+21.5%	-0.8%	+15.5%	+20.9%	±0.0%	+44.4%	+66.7%	-	-	+9.5%		
R3年	男	117	315	117	60	32	8	5	0	0	654	89.2%
	割合	17.9%	48.2%	17.9%	9.2%	4.9%	1.2%	0.8%	0.0%	0.0%	100.0%	
	女	13	43	12	7	2	1	1	0	0	79	10.8%
	割合	16.5%	54.4%	15.2%	8.9%	2.5%	1.3%	1.3%	0.0%	0.0%	100.0%	
	合計	130	358	129	67	34	9	6	0	0	733	
割合	17.7%	48.8%	17.6%	9.1%	4.6%	1.2%	0.8%	0.0%	0.0%	100.0%		

- 年代別では、10代から30代までで、全体の82.4%(662人)を占めており、20代が44.2%(355人)と最も多い。
- 男女別では、男が91.4%(734人)を占めており、前年に比べ、女の割合が減少している。
- 男の年代別では、10代から30代までの割合が82.7%(607人)を占めている。
- 女の年代別では、20代から30代までの割合が65.2%(45人)を占めている。

## オ 検挙人員（少年・暴力団・外国人別）

		検 挙 人 員	うち少年	うち暴力団	うち外国人
R4年	男	734	143	113	32
	女	69	10	2	2
	合計	803	153	115	34
	前年比	+70	+23	+22	+7
	割合	100.0%	19.1%	14.3%	4.2%
R3年	男	654	117	93	21
	女	79	13	0	6
	合計	733	130	93	27
	割合	100.0%	17.7%	12.7%	3.7%

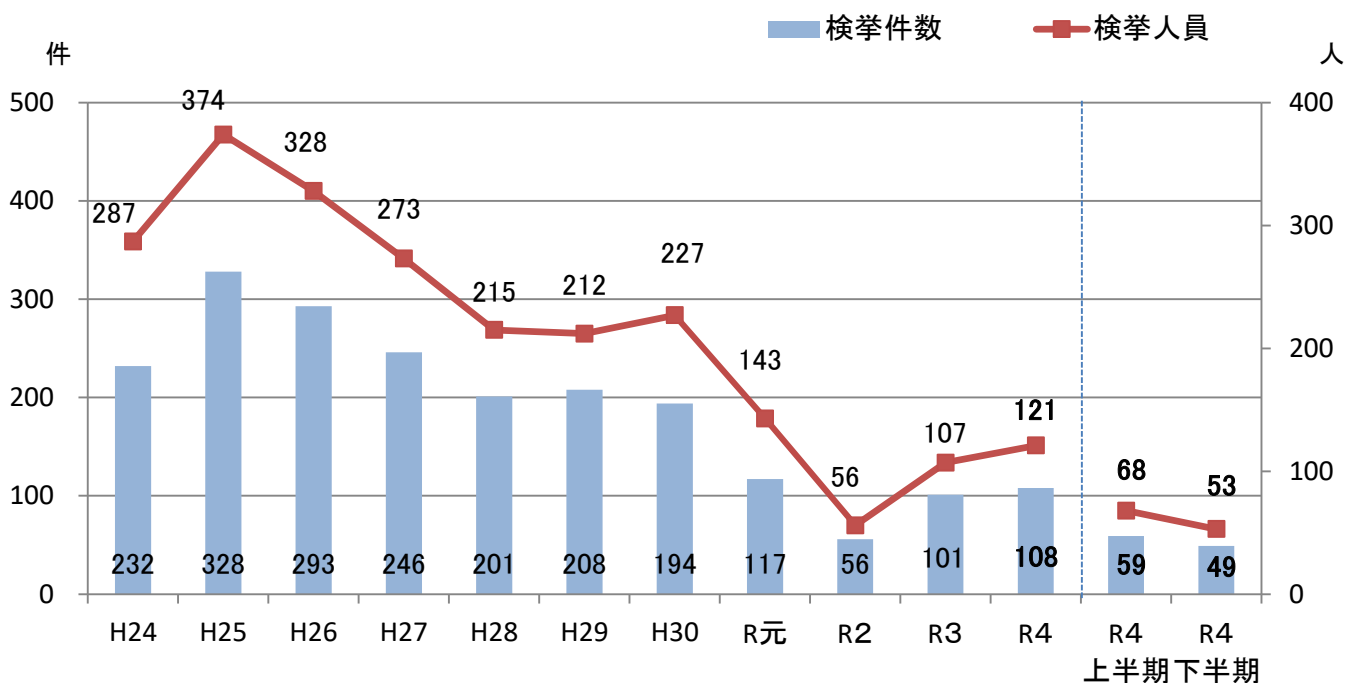
- 検挙人員のうち、少年19.1%(153人)、暴力団構成員等14.3%(115人)、外国人4.2%(34人)であり、前年と比べ、全て増加している。

## カ 検挙人員（役割別・男女別）

		首魁	指示役	架け子	出し子	受け子	見張り役	リクルーター	その他	合計
R4年	男	16	6	36	99	444	38	41	54	734
	女	0	0	1	11	48	3	1	5	69
	合計	16	6	37	110	492	41	42	59	803
	前年比	+2	-2	+3	+23	+29	+22	-10	+3	+70
	割合	2.0%	0.7%	4.6%	13.7%	61.3%	5.1%	5.2%	7.3%	100.0%
R3年	男	14	8	33	80	399	17	50	53	654
	女	0	0	1	7	64	2	2	3	79
	合計	14	8	34	87	463	19	52	56	733
	割合	1.9%	1.1%	4.6%	11.9%	63.2%	2.6%	7.1%	7.6%	100.0%

- 受け子の検挙人員が全体の61.3%(492人)で最多となっている。
- 受け子の男女別では、男が90.2%(444人)を占めており、女は、前年同期と比べ25.0%(16人)減少している。

## キ 現場設定（だまされた振り作戦）による検挙状況



- だまされた振り作戦による「現場設定検挙」は、前年と比べ、検挙件数が7件、検挙人員が14人それぞれ増加している。

(2) 特殊詐欺助長犯

類型別の検挙状況

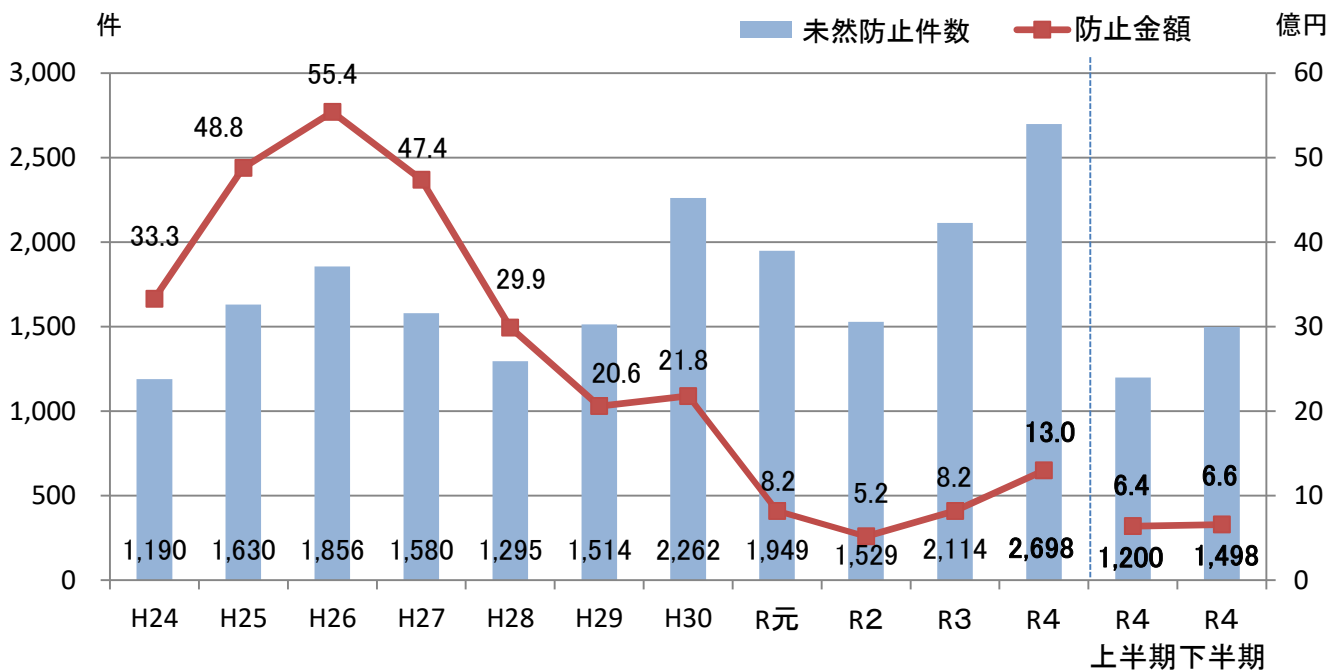
		口座開設詐欺	携帯電話契約詐欺	犯罪収益移転防止法違反	携帯電話不正利用防止法違反	合計
検挙件数	R4年	91	34	437	2	564
	R3年	72	28	422	5	527
	前年比	+19	+6	+15	-3	+37
	増減率	+26.4%	21.4%	+3.6%	-60.0%	+7.0%
検挙人員	R4年	58	23	395	2	478
	R3年	49	24	426	3	502
	前年比	+9	-1	-31	-1	-24
	増減率	+18.4%	-4.2%	-7.3%	-33.3%	-4.8%

○ 助長犯の検挙は、前年と比べ、検挙件数が37件増加し、検挙人員が24人減少している。

### 3 未然防止等の状況

#### (1) 未然防止全体

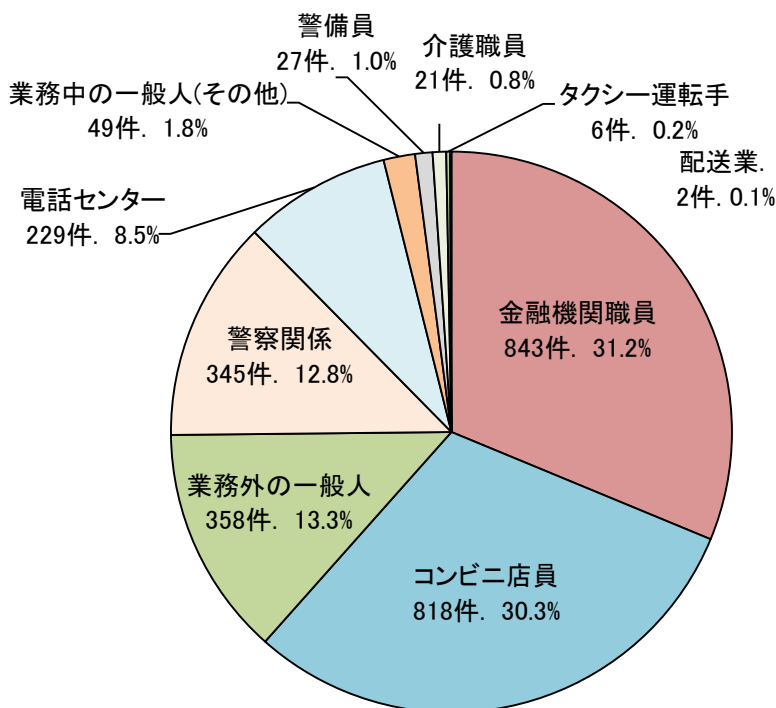
##### ア 未然防止の推移



○ 未然防止件数は、前年と比べ584件増加、防止金額は、前年と比べ約4.8億円増加している。

##### イ 職種別の未然防止状況

【未然防止件数 2,698件】



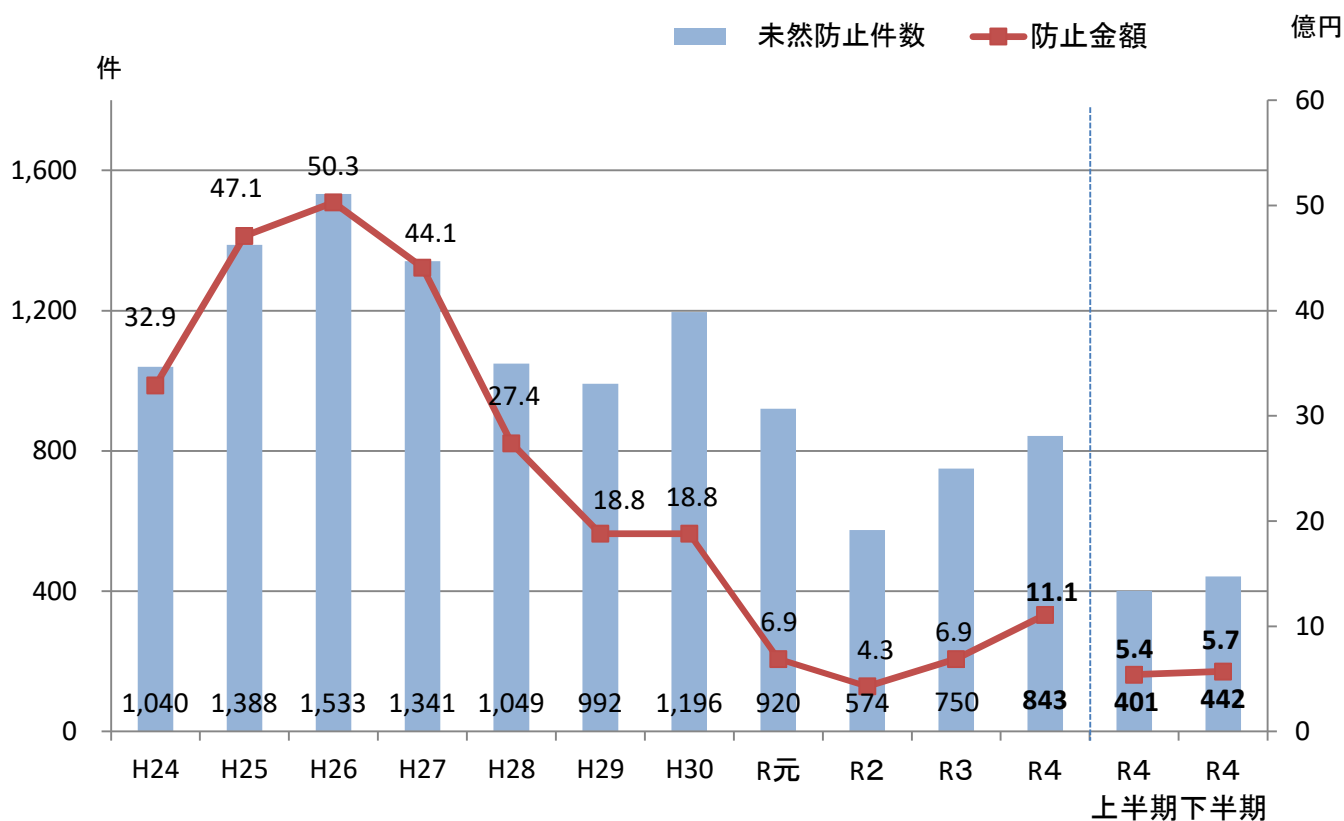
	金融機関職員	警察関係	電話センター	コンビニ店員	業務中の一般人					業務外の一般人	合計
					警備員	介護職員	タクシー運転手	配送業	その他		
R4年	843	345	229	818	27	21	6	2	49	358	2,698
割合	31.2%	12.8%	8.5%	30.3%	1.0%	0.8%	0.2%	0.1%	1.8%	13.3%	100.0%
前年比	+93	+7	+71	+318	-4	+2	-3	+1	+7	+92	+584
増減率	+12.4%	+2.1%	+44.9%	+63.6%	-12.9%	+10.5%	-33.3%	+100.0%	+16.7%	+34.6%	+27.6%
R3年	750	338	158	500	31	19	9	1	42	266	2,114

※ 業務外の一般人とは、友人、知人、ATM利用者等を示す

- 金融機関職員による未然防止が、全体の31.2%(843件)を占めている。  
(うち、窓口での未然防止は598件)
- コンビニ店員による未然防止が、前年に比べ、63.6%(318件)増加している。
- 業務外の一般人による未然防止が、前年に比べ、34.6%(92件)増加している。

## (2) 金融機関による未然防止

### ア 未然防止の推移

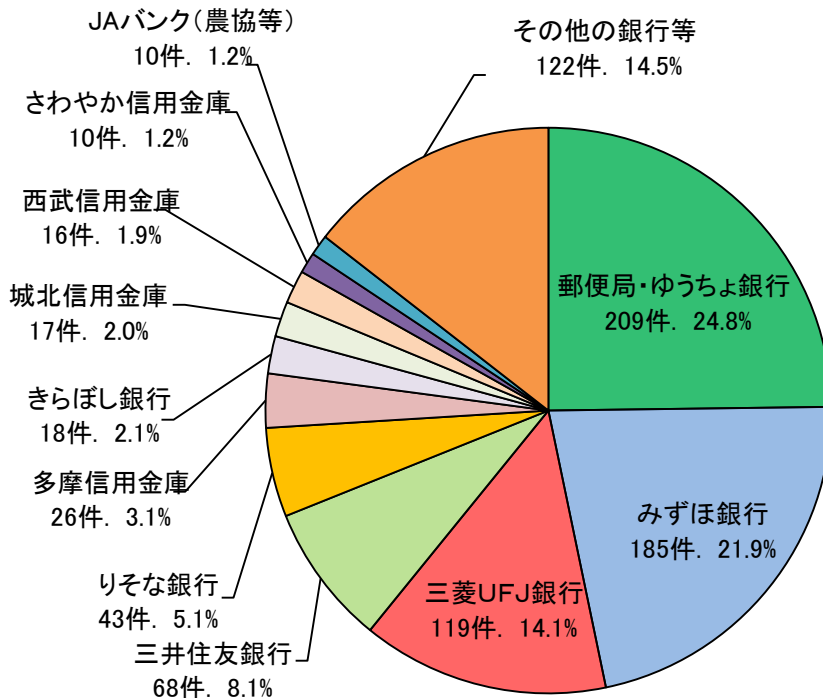


- 未然防止件数は、前年と比べ93件増加、防止金額は、約4.2億円増加している。



## イ 金融機関別の未然防止状況

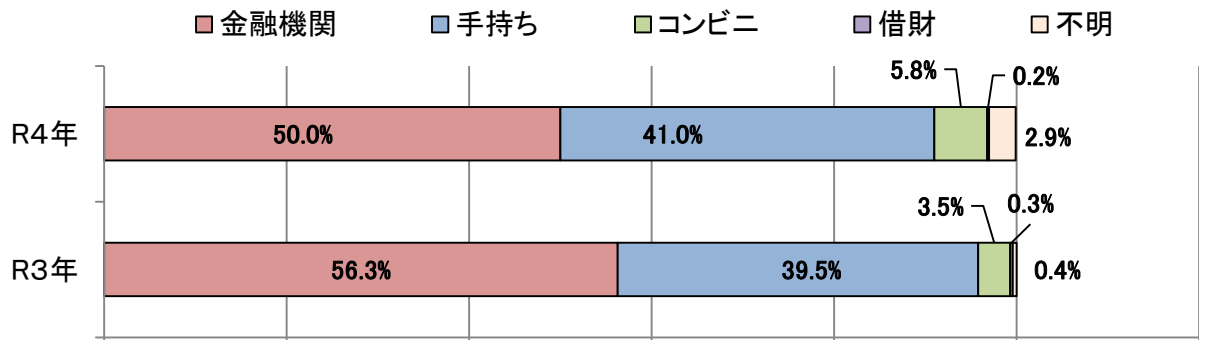
【未然防止件数 843件】



### (3) 被害金調達状況(全体)

#### 方法別の被害金調達回数

	金融機関	コンビニ	借財	手持ち	その他不明	合計
R4年	627	73	3	514	36	1,253
割合	50.0%	5.8%	0.2%	41.0%	2.9%	100.0%
R3年	636	40	3	446	5	1,130
割合	56.3%	3.5%	0.3%	39.5%	0.4%	100.0%

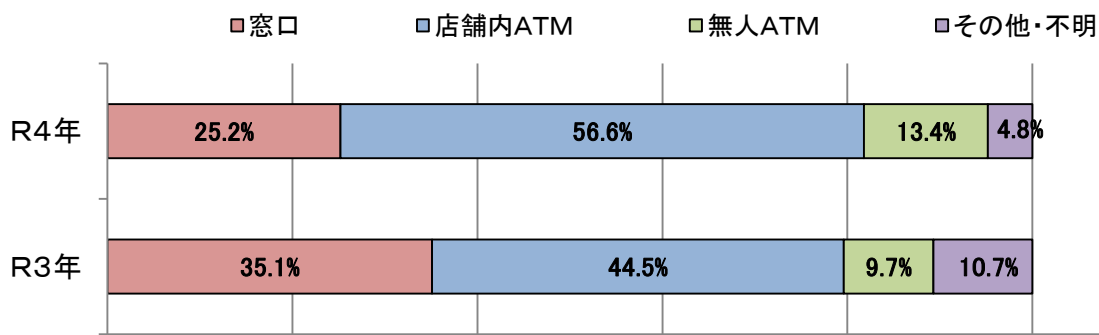


○ 被害金の調達は、「手持ち」（タンス預金等）の占める割合が増加している。

#### (4) 金融機関における被害金調達

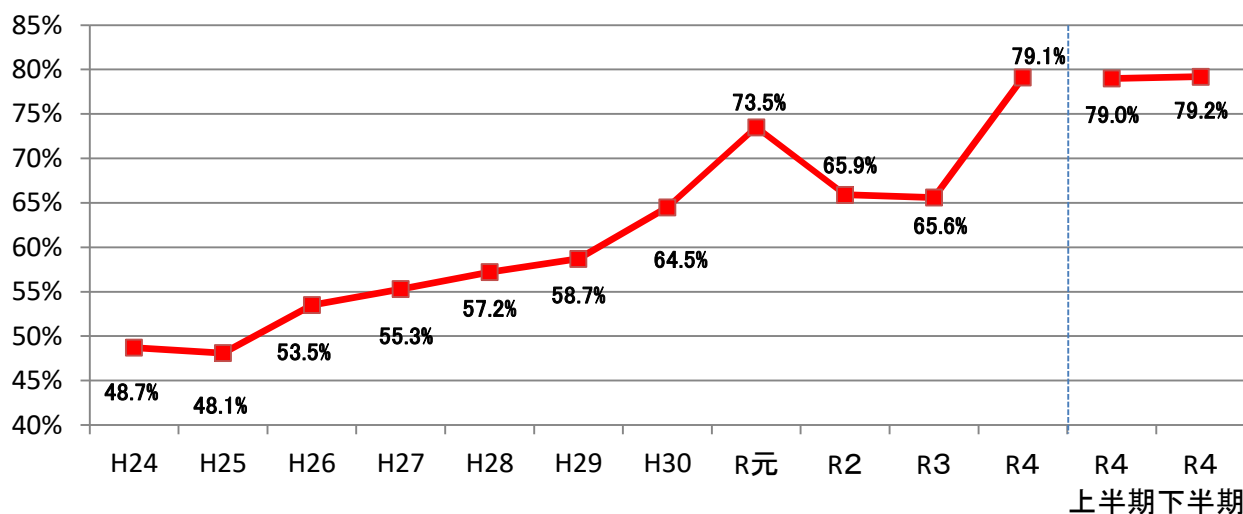
##### 方法別の被害金調達回数

	窓口	A T M			その他不明	合 計
		店舗内ATM	無人ATM	小 計		
R4年	158	355	84	439	30	627
割合	25.2%	56.6%	13.4%	70.0%	4.8%	100.0%
R3年	223	283	62	345	68	636
割合	35.1%	44.5%	9.7%	54.2%	10.7%	100.0%



○ ATMでの調達の割合は、店舗内と無人を合わせて全体の70.0%(439回)を占めている。

#### (5) 金融機関窓口による未然防止率



※ 未然防止率

= 窓口での未然防止件数(598件) ÷ (窓口での未然防止件数(598件) + 窓口での引き出し件数(158件)) × 100

○ 被疑者は、被害者が金融機関で現金を調達する際に、行員等にその理由を聞かれることを想定し、被害者に対して次のように答えるように指示している場合がある。

R4年

- ・ リフォーム代、修繕費用として
- ・ 法事で使うため
- ・ 車を購入するため
- ・ 子供(孫)の結婚費用として
- ・ 子供の住宅購入費用とするため
- 等

## (6) 未然防止の好事例

### 1 コンビニ利用客(高校生)による未然防止

防止者(17歳・男性)がコンビニエンスストアに来店したところ、被害者(80代・男性)が店員に「プリペイドカードは買えますか」等と話した後、結局買い物をする事なく立ち去る状況を目撃し、その後さらに、別店舗でプリペイドカードを手に持ち退店するのを確認した。

防止者は男性が詐欺被害に遭っていることを疑い、声をかけたところ「パソコンが壊れてしまって直すのに必要だから買って来るように言われた」と話したことから、被害者の承諾を得て110番通報し、被害を未然に防止した。

### 2 ボランティアによる未然防止

防止者(70代・男性)は、防犯ボランティア団体の副会長を務めており、日頃から自宅付近の無人ATM警戒を自主的に実施していた。当日も自主的に無人ATM内を警戒していたところ、被害者(70代・女性)が来店し「区役所の健康保険課から還付金があると電話があった」と話したことから、すぐに詐欺と看破し、警察署へ連絡し被害を未然に防止した。

### 3 警備員による未然防止

防止者ら(30代・男性2名)が、現金補充のため無人ATMに到着すると、被害者(70代・女性)が携帯電話で通話しながらATMを操作しているのを発見した。

防止者らが、同ATM内に掲示されていた「STOP! ATMでの携帯電話」ポスターを指差しながら声をかけ、ATM操作を止めるよう説得し、110番通報したことで、被害を未然に防止した。

### 4 コンビニ店員(高校生)による未然防止

防止者(16歳・女性)は、コンビニエンスストアでアルバイトとして勤務中、被害者(80代・女性)が、何者かと携帯電話で通話しながらプリペイドカード30万円分を購入しようとしているのを発見した。

被害者に声をかけ確認すると「携帯電話に非通知で電話があり、ウイルスに感染していると言われた。制裁金を払う必要がある」と説明したため、女性が詐欺被害に遭っていることを確信し、携帯電話を預かり犯人に対し「詐欺ですよ」と伝えた後、警察署へ連絡し被害を未然に防止した。

### 5 金融機関職員による未然防止

防止者が窓口業務中、店舗内ATM利用客から「ATMの使い方がわからない人がいるから教えてあげて」と言われ、すぐに店舗内ATMに駆けつけたところ、携帯電話で通話しながらATMを操作している被害者(70代・女性)を発見した。

被害者に声をかけ通話を止めさせ、ATM画面を確認すると、49万円をいずれかへ振り込む直前であったことから、操作を止めるよう説得するとともに警察署へ連絡し被害を未然に防止した。